

바이마르 憲法에 관한 文獻目録

金 孝 全 編*

이 문헌 목록은 바이마르 헌법에 관한 한국, 일본 그리고 독일의 문헌을 정리한 것이다. 일본 문헌은 日本評論社, 戰後法學文獻總目録 公法篇 全10卷과 法律時報의 文獻月報를 주로 참고하였으며, 독일의 문헌은 Karlsruhe Juristische Bibliographie, 1965 ff.에 의거하였다. 독일 문헌 왼쪽 윗 부분의 *표는 단행본을 의미한다.

《차 례》

- | | |
|-----------|---------------------------------------|
| A. 韓國文獻 | 2. 法典과 資料 |
| 1. 文獻目録 | 3. 一般的 叙述 |
| 2. 法典과 資料 | 4. 基本權 |
| 3. 一般的 叙述 | 5. 統治構造 |
| 4. 基本權 | 6. 기 타 |
| 5. 統治構造 | C. Deutsche Schrifttum: Bibliographie |
| B. 日本文獻 | zur Weimarer Republik, insbesondere |
| 1. 文獻目録 | zu ihrer Verfassung 1965~1984 |
-

A. 韓國文獻

1. 文獻目録

金孝全編, 獨逸憲法學에 관한 獨逸文獻目録/獨逸憲法學 및 憲法學者에 관한 韓國文獻/獨逸憲法學者에 관한 日本文獻, 同人編, 獨逸憲法學說史, 法文社, 1972, 289~352면.

* 東亞大學校 法科大學 副教授. 法學博士.

2. 法典과 資料

法制處, 바이마르憲法, 法制月報 3권 12호 1960. 12, 84~109면.

바이마르 憲法, 新東亞 1975년 1월호 別冊附錄, 世界의 人權宣言, 66~73면.

權寧星, 바이마르 憲法, 比較憲法學, 法文社, 1981, 727~741면.

바이마르 공화국 헌법(1919년 8월 11일 제정), 白京男 지음, 바이마르共和國—서구 민주주의 실험의 비극, 종로서적, 1985, 281~313면.

3. 一般的 敘述

1) 單行本

白京男 지음, 바이마르 共和國—서구 민주주의 실험의 비극, 종로서적, 1985, 327면.

니콜스, A. J. 지음, 吳麟錫 옮김, 바이마르 共和國과 히틀러, 과학과 인간사, 1980, 203면.

2) 論 文

權寧星, Weimar 共和國後期の 憲法發展에 관한 考察, 法學論文集(中央大), 제 4집 1976. 同人, 比較憲法學, 190~207면.

權寧星, 바이마르 共和國前期의 憲法發展에 관한 考察, 法學(서울大), 제 18권 2호 1978, 21~45면. 同人, 比較憲法學, 161~190면.

權寧星, 바이마르 共和國은 왜 沒落했나 <特輯·共和制…理想과 現實>, 月刊朝鮮 80년 5월, 64~70면. 同人, 比較憲法學, 207~218면.

金孝全譯, 칼 슈미트, 후고 프로이스—그 國家概念과 獨逸國家學上的 地位, 法政論叢(東亞大), 제 24집 1984, 19~39면(Carl Schmitt, Hugo Preuss. Sein Staatsbegriff und seine Stellung in der deutschen Staatslehre, 1930, 34S.).

金孝全譯, 하인리히 트리펠, 憲法과 政黨, 月刊考試 85년 9월, 165~186면.

(Heinrich Triepel, Die Staatsverfassung und die politischen Parteien, 1930, 37S.).

崔禎鎬, 바이마르 共和國, 獨逸文化研究所編, 獨逸文化史大系(1) 一般史·制度史, 新志社, 1974, 303~338면.

威龍俊, Weimar 憲法과 Max Weber, 서울대학교 대학원 석사학위 논문, 1977.

4. 基本權

高在亨, Weimar 憲法上的 基本權에 관한 考察, 全南大學校 大學院 碩士學位論文, 1970.

5. 統治構造

金正吉譯, 클린턴 로씨터, 現代大權政治論, 大源書籍, 1976, 368면.

(Clinton L. Rossiter, *Constitutional Dictatorship. Crisis Government in the Modern Democracies*, 1948).

朴圭河, 西獨基本法上の 聯邦政府 —바이말 憲法上の 國政府와 比較하여—, 考試界 82년 4월 57~69면.

李康嫻, 바이마르 憲法上の 非常措置權에 관한 考察, 栗山韓泰淵博士回甲紀念論文集, 1977, 383~401면.

B. 日本文獻

1. 文獻目錄

金孝全, 獨逸憲法學者에 관한 日本文獻, 金孝全編, 獨逸憲法學說史, 法文社, 1982, 335~352頁.

山下威士, ハンス・ケルゼン關係邦語文獻年表—1920~1981年, 法政理論(新潟大學) 第15卷 1號 1983.

2. 法典과 資料

阿部照哉・村上義弘譯, ヴァイマル共和國憲法(1919年 8月 11日 制定). C. 슈ミット 憲法論, みすず書房, 1974, 447~472頁.

衆議院 法制局, 舊ドイツ國憲法(ワイマル憲法)・舊プロイセン國憲法・舊フランス國憲法(フランス第3共和國憲法), 衆議院, 1958.

3. 一般的 敘述

1) 單行本

安世舟, ドイツ社會民主黨史序說—創立からワイマル共和國成立期まで—, 御茶の水書房, 1973.

立命館大學人文科學研究所, ワイマル體制の研究, 人文科學研究所紀要 第6號.

河島幸夫・脇圭 平譯, ゾントハイマー, ワイマル共和國の政治思想, ミネルヴァ書房, 1976.

小林昭三, ワイマル共和制の成立, 成文堂, 1980, 237頁.

到津十三男譯, ケイ, ワイマル文化, みすず書房, 1970.

中道壽一譯, R. ヘベルレ, 民主主義からナチズムへ, 御茶の水書房.

林健太郎, ワイマル共和國, 中央公論社, 1963.

村瀬興雄監譯, フリッツ・フィッシャー, 世界強國への道—ドイツの挑戦 1914~1918年—, 岩波書店, I 1972, 398頁/II 1983, 473頁.

宮本盛太郎他譯，ヘルマン・ヘラー他，ヴァイマル民主主義の崩壊，木鐸社，1980，228頁。

山口定・高橋進譯，K. D. ブラッハー，ドイツの獨裁—ナチズムの生成・構造・歸結—岩波書店，1975。

吉田輝夫譯，A. ローゼンベルク，ヴァイマル共和國史，東邦出版。

脇圭 平譯，ヴォルター・ラカー，ワイマル文化を生きた人びと，ミネルヴァ，1983。

教仁郷繁譯，エリヒ・アイク，ワイマル共和國史 I，東京，1983。

2) 論文

阿部照哉，ワイマール憲法の崩壊過程，法學論叢(京都大學) 第78卷 3,4號(1970)。

碧海純一，ワイマール憲法における法治國家の理念(英文)，神戸法學雜誌 第1卷 4號

猪木正道，法と政治—ワイマール憲法の場合，ジュリスト 第169號。

大西邦雄，ワイマール憲法の崩壊，法律時報 第29卷 1號。

川合全弘，ワイマール共和國期におけるエルンスト・ユンガーの政治思想(2・完)，法學論叢(京都大)，第113卷 1號 1983。

栗城壽夫，Kurt Sontheimer: Zur Grundlagenproblematik der deutschen Staatsrechtslehre in der Weimarer Republik, 1960 (紹介)，法學雜誌(大阪市立大學) 第7卷 2號。

栗城壽夫，18世紀ドイツ國法理論における二元主義的傾向(13)，法學雜誌 第24卷 4號。

栗城壽夫，ドイツ國家目的論史小考，法學雜誌 第25卷 3・4號，1979。

栗城壽夫，ムールハルトの國民主權論，法學雜誌 第26卷 3・4號，1980。

木暮正義，ワイマール・デモクラシー史の一側面—ワイマール期國家學の一考察，法學新報 第71卷 11號。

小林昭三，ワイマール憲法の出生をめぐる危機意識の諸相，早稻田政治經濟學雜誌 第244，245號。

佐藤立夫，ウルリッヒ・ショイナー「ヴァイマル共和國時代におけるドイツ公法學者大會」1~2(書評)，早政 第241，242號。同人，現代の國家と憲法論巧，早大出版部，1978。所收

澤野義一，ヘルマン・ヘラーの主權論—民主的な主權強調論，龍谷法學 第16卷 4號 1984。

篠原一，戦後におけるワイマール共和國研究，政治 1957年。

杉江榮一，ドイツ民主主義とワイマール共和制—共和制の成立をめぐる序説的考察，同志社法學 第30號。

住澤とし子譯，ハンス・モムゼン「ワイマール共和國における世代間抗争と青年の反亂」，思想 第711號 1983。

田村武夫，東ドイツ憲法史—ヴァイマル憲法の歴史的位置と評價(1)，茨城大學 人

- 文學部紀要 第13號 1978.
- 多田眞鋤, ドイツ・ワイマール時代における反民主主義政治思想, 法學研究 第37卷 5號.
- 近藤潤三, フリードリッヒ・ナウマンの國民社會主義思想(2・完)―ヴイルヘルム期ドイツの思想の一断面, 愛知教育大學 社會科學論集 21號 1981.
- 鳥居喜代和, フーゴ・プロイスの憲法構想―ワイマール憲法制定期における法思想の側面一, 立命館法學 第149號 1980, 84~141頁.
- 鳥居喜代和, フーゴ・プロイスの主權概念否認論とワイマール憲法(1)―ワイマール憲法制定期における法思想の一局面一, 札幌學院法學 第1卷 1號 1984, 113~128頁.
- 長尾一紘, ワイマール憲法―その特質と崩壊過程(法律入門講座 憲法), 地方自治職員研修, 第13卷 5號 1978.
- 中道壽一, ワイマール期における C. Schmittの政治理論について, 中京大學教養論叢 第16卷 3號.
- 中村 哲, フランスの五月憲法草案とワイマール憲法, 法律時報 第18卷 8號.
- 中村幹雄, ヘルマン・ミュラー大連合内閣の崩壊, 西洋史學, 1957.
- 西村稔・宮本盛太郎譯, ヘルマン・ヘラー法治國家か獨裁か, 宮本盛太郎他譯, ヴァイマル民主主義の崩壊, 木鐸社, 1980, 7~34頁.
- 西浦 公, ヴァイマル期憲法學の憲法概念 ―H. ヘラーの理論を中心に, 法學雜誌(大阪市立大) 第21卷 1號 1974.
- 西浦 公, A. ヘーネルの憲法理論, 法學雜誌 第23卷 4號.
- 西浦 公, カウフマンの憲法理論の基礎構造, 法學雜誌 第24卷 3號.
- 畑田・杉本, ワイマール共和國擁護憲法について, 法資 6號.
- 畑田重夫, ワイマール民主主義の迎った道―“世にも稀れな民主的憲法”の運命, 法律時報 第27卷 1號.
- 早川純貴, 第4次 マルクス内閣の成立とドイツ中央黨―中央黨の連合戦略と統合問題, 阪大法學 第130號 1984.
- 平島健司, ヘルマン・ミュラー大連合内閣の形成―ワイマール共和國における政治指導の可能性, 國家學會雜誌 第96卷 11號 1984.
- 扇田孝之, フーゴ・プロイスの理論と行動―ヴァイマル憲法の歴史的背景についての一考察(1), 明大大學院紀要・法學篇 第11卷 1號.
- 松谷 茂, シュ・ダウリンの『憲法變遷』論, 公法理論 1號.
- 水木惣太郎, ワイマール憲法, 日本法學(日本大學) 第30卷 1號.
- 宮澤俊義, ワイマル憲法の思い出, ジュリスト 300號.
- 村山知義・向坂逸郎・有澤廣己・美濃部亮吉・村瀬興雄, ワイマール憲法の運命―ドイツにおける民主主義の崩壊とその教訓, 世界 82號.
- 山下威士, 危機の時代における保守革命の思想家―Carl Schmitt, 埼玉大學紀要 第

- 20卷(1972) 吳 宮本盛太郎・初宿正典編, カール・シュミット論集, 木鐸社, 1978, 277~386頁.
- 山下威士, ヴァイマル憲法の崩壊過程, 有倉遼吉先生選歴紀念 現代憲法の基本問題, 早大出版部, 1974.
- 渡邊重範, ワイマール憲法の規範力について, 早大 教育學部 學術研究 26號 1978.

4. 基本權

- 東 日出男, ヴァイマル憲法教育條項成立の前後(1)(2), 奈良女子大文學會研究年報 第5, 7號.
- 石川敏行, ドイツ公權理論の形成と展開(1~4), 法學新報 第84卷 4・5・6, 7・8・9號 85卷 1・2・3號.
- 石川敏行, ドイツ公權理論の限界—公法實證主義時代を中心にした批判的考察, 法學新報 第86卷 4・5・6號, 7・8・9號.
- 石村善治, ワイマール憲法と表現の自由(1~2・完), 福法 第2卷 1~2號.
- 内野正幸, 社會權の法的性格論の歴史的的分析—ドイツ基本權論史の一考察— 1, 法律時報 第59卷 9號 1981.
- 菟原 明譯, E. R. フーバー, 基本權の意味變遷, 法學論集(山梨學院大學) 第2號.
- 菟原 明, E. R. フーバーの基本權論(1), 法學論集 第4號 1981.
- 菟原 明, 基本權の第三者効力論—ワイマール憲法の勞働關係における基本權保護(1), 早稻田大學大學院法研論集 第15號.
- 菟原 明, R. トーマの基本權論—ヴァイマル期基本權論研究ノート, 森泉章・室井力・樋口陽一ほか編, 現代法の諸領域と憲法理念. 小林孝輔教授還曆紀念論文集, 學陽書房, 1983, 28~39頁.
- 菟原 明譯, リヒャルト・トーマ, 基本權と警察權, 山院 5號 1983.
- 大西芳雄, ワイマール憲法の崩壊(特集・憲法における思想・良心の自由), 法律時報, 第29卷 1號.
- 影山日出彌, ヴァイマル憲法における「社會權」, 東京大學 社會科學研究所編, 基本的人權 3 歴史Ⅱ, 1968, 185~221頁.
- 岡崎勝彦, 石川敏行「ドイツ公權理論の形成と展開」(1~4), 法律時報 第51卷 8號.
- 熊田道彦, 平等原則における立法者拘束説(5~6) —ワイマール憲法 第109條 1項の理論的基礎, 山梨大學 法經論文集 21~22號.
- 熊田道彦, ワイマール憲法における平等原則の「新説」叙説—スイス當該法原則からの繼承に關連させて, 亞細亞法學 第11卷 2號.
- 熊田道彦, 平等原則「新説」の若干の問題—ワイマール憲法 109條 1項の論議における, 亞細亞法學 第13卷 2號.
- 初宿正典, ヘレンキームゼー草案の基本權部分—ボン基本法およびヴァイマル憲法との

- 對比において(資料), 愛知教育大學 社會科學論集 18號.
- 近藤 眞, 社會的權力に對する個人の意見表明の自由(1), (2・完)—ワイマール憲法第118條 1項 第2段の成立と展開, 名法 99, 100號 1984.
- 鳥居喜代和, フーゲープロイスの基本權理解に寄せて—法治國家から憲法裁判までの道程—, 札幌商科大學 論集 第34號 法律篇(1983), 93~109頁.
- 平井 孝, 프로이센・ドイツにおける國家補償の歴史と理論(1) —自由的財産思想の形成と發展, 新潟大學 法政理論 第5卷 3號.
- 古川利通, ワイマール「社會權」の評議會條項(第165條) からみた特質(1)(2)(3), 大阪經濟法科大學論集 第18號(1982), 第19號(1983), 第20號(1984).
- 堀内健志, 國家諸機能・法規・命令・法律の留保 —ワイマール期學說の諸傾向(1)(2)—, 盛岡短大研究報告 第23號・第25號.
- 堀内健志, ドイツ「法律」概念の研究序説, 多賀出版, 1984 所收.
- 山口 定, ワイマール共和國におけるラジオ放送の政治的 中立性, 立命館法學 第29, 30號.
- 山下健次, 基本權規定の展開 —ワイマール憲法における展開(1)—, 立命館法學 第46號 1963.
- 山下健次, フリードリッヒ・ナウマンの基本權草案(1919. 3. 31)〈資料〉, 立命館法學 第48號.

5. 統治構造

1) 議會主義

- 阿部照哉, ワイマール憲法下の統治機構 —議會主義を中心として, 法學論叢(京大) 第70卷 6號 1962, 30~56頁.
- 岩間昭道, 議會政と民主主義 —ワイマール・ドイツについて, 公法研究 第39號 1977, 55~63頁.
- 川北洋太郎, ワイマール共和國における議會政治制の悲劇, 學習院大學政經學部研究年報 1955年 191~261頁에 수록.
- 竹内重年譯, グスターフ・ラートブルフ, ワイマール憲法の體系における政黨, 自治研究 第54卷 11號 1978 ㉓ 同人 編譯, 二〇世紀における民主制の構造變化, 木鐸社, 1983, 129~146頁.
- 武永 淳, ワイマール比例代表制の展開と改革の動き, 彥論 230號 1985.
- 丸山 健, ワイマール憲法と政黨, 法學(東北大學) 第26卷 1號.
- 村田孝雄, ワイマール選舉制度の歴史的背景, 愛知教育大學 社會科學論集 第12號.
- 山口 定, ワイマール共和國における議會主義政治體制(一)(二) —その不安定性に關する序論的考察, 立命館法學 第24號 14~67頁 ㉓ 第25號 1958, 84~138頁.
- 2) 大統領制과 緊急權

- 小林昭三, ワイマール大統領論研究序説, 成文堂, 1964, 192頁.
- 間田 稔, ワイマール憲法下における行政組織権理論の展開, 名古屋大學 法政論集 第72號.
- 安世舟, ワイマール・デモクラシーと大統領制 —制憲議會における大統領「獨裁條項」の成立過程を中心にして, 明治大學大學院紀要 第5集 1967.
- 井口文男, 國民投票制度の諸問題 —ワイマール・ドイツ, そしてイタリア, 神院 第9巻 4號.
- 岡部健彦, ワイマール共和制末期における獨裁的傾向, 猪木正道編, 獨裁の研究, 創文社, 1957, 347~372頁.
- 小林昭三, ワイマール制憲議會における生みの苦しみ —大統領公選制の審議を中心に, 法と秩序 第45號.
- 小林昭三, ワイマール大統領の理論序説, 早稻田政治經濟學雜誌 第176號.
- 小林昭三, ワイマール憲法の大統領公選制成立時におけるいろいろの思惑, 早稻田政治經濟學雜誌 第232號.
- 小林昭三, ワイマール憲法における緊急法をめぐる —“制度的完全性”はありうるのか? 早稻田政治經濟學雜誌 第239號.
- 杉谷浜男, ワイマール獨逸に於ける官吏の本質, 法經學會雜誌(岡山大學) 第1巻 1號.
- 太田和宏, ヴァイマル國家強制仲裁の統計的把握, 北海學園大學 經濟論集 第32巻 4號 1985.
- 高橋秀憲, ワイマール緊急權論について(1) —憲法發効直後の授權法論にみるその論争基盤の形成過程, 早稻田政治公法研究 第8號.
- 高橋秀憲, ワイマール緊急權論について(2) —
- 高橋秀憲, ワイマール緊急權論について(3) —初期 C. シュミット緊急權論の基礎と論理構造についての考察, 早公 第10號 1983.
- 高橋秀憲, ワイマール緊急權論について(4) —第48條 第5項 法律即時制定による決着要求の位置, 早公 第11號 1983.
- 高橋秀憲, ワイマール緊急權論について(5), 早公 第12號.
- 田中 浩, 大統領の獨裁とワイマール共和國の崩壊 —憲法 第48條 第2項(緊急命令權・非常權限)をめぐる —, 田中浩・原田武雄譯, C. シュミット 大統領の獨裁, 未來社, 1974, 207~262頁.
- 豊田悦夫, ワイマール憲法下の組閣の理論と實際, 京大教養部 政法 第1號.
- 畑博行, 國家緊急權の問題 —ワイマール憲法下の緊急措置權を中心として(研究報告), 公法研究 第17號 1957.
- 吉井友秋, ワイマール憲法及びフランス第5共和國憲法の大統領制について, 島根大學論集 第12號.

3) 司法府

石村 修, 憲法保障制度の基本問題—ヴァイマル憲法を中心として, 専修法學論集 第27號.

上山安敏, 近代ドイツの憲法狀況と司法の構造, 法律時報 第45卷 第5號~第47卷 第3號(1973~1975) 및 同人, 憲法社會史, 日本評論社, 1977, 314頁.

齋藤秀夫, ワイマル憲法下の裁判と世論(上下), シュリスト 第101~102號.

畑尻 剛, ヴァイマル憲法下の裁判官の審査權(1), 城西經濟學會誌 第20卷 2號 1985.

畑尻 剛, ヴァイマル憲法制定國民議會における裁判官の審査權—「ヴァイマル憲法下の裁判官の審査權」研究序說, 城西人文研究 第12號 1985.

宮崎良夫, プロイセンにおける官府裁判(Kammerjustiz), 東社 第24卷 第5・6號.

村上淳一, プロイセンにおける Machtspruch —司法に對する國王の干涉, 法學協會雜誌 第77卷 第5號.

4) 經濟秩序

麻沼賢彦, ドイツにおける工業徒弟制度の史的展開と1920年代(2)—ヴァイマル期の「經營共同體」的勞使關係と工業徒弟養成, 奈良縣立短大 商經科研究季報 31.1=3.

川崎和代, ワイマル共和國の社會化法.

川崎和代, ヘッセン憲法における社會化條項の意義, 法學雜誌(大阪市立大學), 第25卷 第2號.

小林 武, 川崎和代「ワイマル共和國の社會化法」, 同「西ドイツ基本法における社會化條項の意義」, 同「ヘッセン憲法における社會化條項の意義」, 法律時報 第52卷 第11號.

須山光一, ワイマル經濟民主主義と國家についての覚え書, 明星大學 經濟學研究紀要 第15號 1984.

播磨信義, ワイマル憲法における社會化條項(156條)の研究 —その形成過程の検討を中心として, 法學論叢(京都大), 第89卷 第6號.

6. 기타

石村 修譯, 카를·슈미ット, 國家の內政上の中立性に関する問題, 專法 第40號 1984.

石部雅亮, 프로이센普通國法の精神的基礎 —C. G. 스프레츠의 講義, 香川大學 經濟論叢 第33卷 3號.

磯村哲, 호이엘「프로이센—一般國法と階級鬭爭」1960(紹介), 法學論叢(京都大學) 第69卷 4號.

上杉信敬, 프로이센警察法における便宜主義の限界—過度の限界を中心として, 法學論叢(京都大) 第100卷 1號.

木佐茂男, 프로이센·ドイツ地方自治法理論研究序說—「地方警察」權分析を中心とし

- た國家とゲマインデの關係, 自治研究 第54卷 第7~10號.
- 櫻井保之助, ライヒ自然防衛法(立法紹介・西ドイツ), 外法 第14卷 4號.
- 櫻井保之助, ライヒ自然防衛法施行令(立法紹介・西ドイツ), 外法 第14卷 5號.
- 初宿正典, マルティン・モールの『人權』宣言案について, -フランクフルト憲法研究
ノート(1) 京大 政法論集 第4號.
- 高野修, 國家法秩序と私的當事者の自主秩序—道路の建設維持及び地方自治行政に關する
プロイセン上級行政裁判所の判決を素材として, 自治研究 第56卷 第9, 11~
12號 1979.
- 中川一郎譯, ライヒ租税法(邦譯) (1~18完), 稅法學 5~17, 19~24.
- 仲 哲生, プロイセン憲法(1850年)と三級選舉法制, 早研 11號.
- 西原博史, 神聖ローマ帝國期ドイツにおけるGewissensfreiheit概念の成立と發展—
Gewissensfreiheit概念のドイツ制度史上の變遷(1), 早研 第33號 1984.
- 森三十郎譯, プロイセン國憲法—1850年ドイツ政治日誌補遺, 福法 第22卷 1號 1978.
- 北住炯一, ドイツ第二帝制・プロイセンにおける地方統治體制—クライス制からラント
ゲマインデ制へ, 法學研究(愛知學院大學) 第21卷 第1・2號.
- 渡名喜唐安, 木佐茂男「プロイセン=ドイツ地方自治法理論研究序説」, 法律時報
第51卷 12號.
- 種谷春洋, 1848年のフランクフルト憲法における人權〈研究報告〉, 公法研究 第18號.
- 山本浩三, プロシヤ王國の憲法 (1~2完)〈譯〉, 同志社法學 第14卷 6號 及 第15卷
1號.
- 栗城壽夫, ドイツにおける『國家と社會の分離』をめぐる議論について, 社會科學の
方法, 1980年 12月號.
- 安世舟, H. ヘラーの國家論の歴史的背景, 田口富久治他編, 秋永肇教授古稀記念論
集, 木鐸社, 1982.
- 金城 透, 秩序と決斷性—ヘルマン・ヘラー『主權論』を中心として, 法學新報 第90卷
9, 10號, 1984.
- 中道壽一, 書評 ヘルマン・ヘラー著 安世舟譯, 「ドイツ現代政治思想史」, 法學研究
第55卷 7號.
- 中道壽一, 書評 H. ヘラー他著・宮本盛太郎他譯「ヴァイマル民主主義の崩壞」, 岐阜
經濟大學論集 第17卷 1號 1983.
- 廣澤民生, 法實證主義と政治的憲法學の間で —H. ヘラーの法理論の研究, 森泉章・
室井力・樋口陽一 他編, 現代法の諸領域と憲法理念 小林孝輔教授選歴記念論
文集, 學陽書房, 1983.
- 山口利男, 國家學の危機とヘルマン・ヘラー「7月 20日事件」の裁判過程を中心に, 危
機狀況と政治理論, 年報政治學, 1973.

C. Deutsche Schrifttum:

Bibliographie zur Weimarer Republik, insbesondere zu ihrer Verfassung 1965—1984

- Abendroth, Wolfgang: Verfassungsrecht und Verfassungswirklichkeit in der Weimarer Republik. In: Verfassungsrecht. Hrsg. v. Josef Mück. Unter Mitarb. von ... Opladen : Westdt. Verl. 1975. S.33—43(Bad Wildunger Beiträge zur Gemeinschaftskunde.5)
- * Ableitinger, Alfred: Die Weimarer Republik und ihr Ende.—Leibnitz: Volksbildungshem Retzhof des Landes Steiermark 1968.30 gez.Bl. (Politische Bildung.5. = Retzhof-Schriften.) 6S 5.
- * Akten der Reichskanzlei: Weimar Republik. Hrsg. f. d. Histor.Komm. bei d. Bayerischen Akad. d. Wiss. von Karl Dietrich Erdmann, f. d. Bundesarchiv von Wolfgang Mommsen unter Mitw. v.Walter Vogel. [1.] Das Kabinett Cuno. 22. Nov. 1922 bis 12. Aug. 1923. Bearb. von Karl-Heinz Harbeck. Boppard a. Rh.: Boldt 1968. LVI, 799 S.
- Albertin, Lothar: Kabinette ohne politische Perspektive. In:Neue politische Literatur. 1972, 4. S.490—500
- * Albrecht, Klaus L.: Hugo Sinzheimer in der Weimarer Nationalversammlung. Sein Beitrag zum wirtschaftlichen Rätssystem und zu den arbeits—und wirtschaftsrechtlichen Grundrechten der Reichsverfassung. —Frankfurt a.M., Rechtswiss. Diss.v.3.12.1969 (1970).XVII,178 S.
- Altweg, Jürg: Faschismus mit Kultur. Kultur gegen Faschismus. Französisches Denken zwischen Anstiftung, Kollaboration und Widerstand. In: Politik und Kultur. 1982.2.S.42—60
- * Anschütz, Gerhard: Die Verfassung des Deutschen Reichs vom 11. August 1919. Ein Kommentar f. Wiss. u. Praxis. (Unveränd. Nachdr. d. 14.Aufl.1933.)— Bad Homburg v.d.H., Berlin,Zürich: Gehlen 1968. XXXXVIII, 800 S.DM:42,—
- Arendt,Hannah: Die gescheiterte Republik der Räte. Tradition und Geist der Revolution. In: Christ und Welt. 1965, 37 v.10.9.65.S.17 u. 23.
- Arndt, I.: Entziehung und Verbringung jüdischen Vermögens(Ausland und Deutschland). In: Gutachten des Instituts für Zeitgeschichte. Bd.2. — Stuttgart: Deutsche Verlags—Anstalt 1966.S. 92—125
- * Arbeiter-, Soldaten-und Volksräte in Baden 1918/19. Bearb.von Peter Brandt u. Reinhard Rürup.— Düsseldorf: Droste 1980.CXXII,504S.(Quellen zur Geschichte der Rätebewegung in Deutschland 1918/19. (Bd.)3.)DM 168,30

- Arns, Günter: Die Linke in der SPD—Reichstagsfraktion im Herbst 1923. In: Vierteljahreshefte f. Zeitgeschichte. 1974,2.S.190—205
- Bachof, Otto: Die Entnazifizierung. In: Deutsches Geistesleben u. Nationalsozialismus. Tübingen 1965. S.195—216
- * Bauer, Wolfram: Wertrelativismus und Wertbestimmtheit im Kampf um die Weimarer Demokratie. — Berlin: Duncker u. Humblot 1968. 462 S. (Beiträge z.politischen Wissenschaft.3.) DM56,—
- Bauer, Wolfram: Wertrelativismus und Wertbestimmtheit im Kampf um die Weimarer Demokratie. Zum Methodenstreit der Staatsrechtslehrer und seiner Bedeutung für die Politologie. In: Vierteljahreshefte f.Zeitgeschichte.1968.3.S. 209—229
- Bäumer, Hans Otto: Art. 160RV Weimar als arbeitsrechtliche Schutznorm. In: Der Städtebund.1966,2.S.30—31
- Baum, Walter: Regierung Dönitz und deutsche Kapitulation. In: Probleme des Zweiten Weltkrieges. Hrsg. v. Andreas Hillgruber.—Köln, Berlin: Kiepenheuer u. Witsch 1967. S. 347—378(Neue wissenschaftliche Bibliothek. 20.)
- Baumgart, Winfried: Die "geschäftliche Behandlung" des Berliner Ergänzungsvertrags vom 27.August 1918. Eine Episode der deutschen Verfassungsgeschichte. In: Historisches Jahrbuch.1969,1.Halbbd.S.116—152
- Baumgart, Winfried: Vor fünfzig Jahren — Oktober 1918. Eine Dokumentation. In: Aus Politik und Zeitgeschichte. 1968, 43. S.3—39
- * Beck, Reinhart. Die Geschichte der Weimarer Republik im Spiegel der sowjetzonalen Geschichtsschreibung. (Hrsg.vom Bundesministerium für gesamt dt.Fragen.) —Bonn u.Berlin: Deutscher Bundes—Verl. 1965.367 S. (Bonner Berichte aus Mittel—und Ostdeutschland.)
- * Beck, Reinhart: Die Geschichte der Weimarer Republik im Spiegel der sowjetzonalen Geschichtsschreibung. — Bonn u.Berlin: Deutscher Bundes—Verl. 1966.367 S. (Bonner Berichte aus Mittel—und Ostdeutschland.) Zugl.Diss., Erlangen —Nürnberg
- Becker, Elmar: und Kurt Nehring: Das Ende der Weimarer Republik und die Politik der KPD. Zur revolutionären Gewerkschaftsopposition. In: Theorie u. Praxis d. Marxismus—Leninismus. 1979,1.S.84-105; 1979,3.S.72—104
- * Benz, Wolfgang: Süddeutschland in der Weimarer Republik. Ein Beitrag zur dt. Innenpolitik 1918-1923.—Berlin: Duncker u. Humblot 1970.371 S. (Beiträge zu einer historischen Strukturanalyse Bayerns im Industriezeitalter.Bd.4.) DM 68, 60
- Berghahn, Volker R.: Das Volksbegehren gegen den Youngplan und die Ursprünge des Präsidialregimes 1928-1930. In: Industrielle Gesellschaft und politisches System. Beiträge zur polit. Sozialgeschichte. Festschrift für Fritz Fischer zum 70. Geburtstag. Hrsg.: Dirk Stegmann u.a. — Bonn: Verl. Neue Gesellschaft

1978. S.431—446(Schriftenreihe d. Forschungsinstitut d. Friedrich—Ebert—Stiftung. Bd. 137.)
- * Berlin, Jörg: Die deutsche Revolution 1918/19. Quellen und Dokumente. — Köln: Pahl—Rugenstein 1979. 384 S.(Kleine Bibliothek Politik, Wissenschaft, Zukunft. 136.)
- Bermbach, Udo: Aspekte der Parlamentarismus — Diskussion im kaiserlichen Reichstag. Die Erörterungen im Interfraktionellen Ausschuß 1917—1918. In: Politische Vierteljahresschrift. 1967, 1. S. 51—70
- Bermbach, Udo: Die Entstehung des Interfraktionellen Ausschusses: Ein Schritt auf dem Weg zur Parlamentarisierung. In: Vom Kaiserreich zur Weimarer Republik. 1972.S.35—43
- Besson, Waldemar: Die improvisierte Revolution. Legende und Wirklichkeit des Novembers 1918 in Deutschland. In: FAZ 1968,249 v.25.10.68.
- * Bey-Heard, Frauke: Hauptstadt und Staatsumwälzung, Berlin 1919. Problematik u. Scheitern d.Rätebewegung in d.Berliner Kommunalverwaltung.—Stuttgart, Berlin, Köln: Kohlhammer 1969. 252 S. (Schriftenreihe d.Vereins f.Kommunalwissenschaften, Berlin.27.)DM 33,50
- * Biewer, Ludwig. Reichsreformbestrebungen in der Weimarer Republik. Fragen zur Funktionalreform u.zur Neugliederung im Südwesten des Dt.Reiches.—Frankfurt a.M., Bern(usw.): P.D.Lang 1980. 215 S.(Europäische Hochschulschriften. Reihe 3: Geschichte u.ihre Hilfswissenschaften. Bd. 118.) Zugl.Diss.Mainz. DM 47,80
- Birkenfeld, Wolfgang: Der Rufmord am Präsidenten. Zu Grenzformen des politischen Kampfes gegen die frühe Weimarer Republik 1919-1925. In: Archiv f. Sozialgeschichte. Bd.5. 1965. S.453—500
- Blanke, Bernhard: Der deutsche Faschismus als Doppelstaat. In: Der Unrechts-Staat. 1979. S. 59—81
- * Blau, Bruno: Das Ausnahmerecht für die Juden in Deutschland 1933-1945. 3. Aufl. — Düsseldorf. Allg. Wochen-Ztg. d. Juden in Deutschland 1965. 125 S.
- * Blau, Joachim: Sozialdemokratische Staatslehre in der Weimarer Republik. Darstellung u.Untersuchung d. staatstheoretischen Konzeptionen von Hermann Heller, Ernst Fraenkel und Otto Kirchheimer. Mit e. Vorw. von Helmut Ridder. —Marburg: Verl. Arbeiterbewegung u. Gesellschaftswiss. 1980. XVII, 509S. (Schriftenreihe f.Sozialgeschichte u.Arbeiterbewegung. Bd.21.)DM38,-
- Boldt, Hans: Der Artikel 48 der Weimarer Reichsverfassung. Sein historischer Hintergrund und seine politische Funktion: In: Die Weimarer Republik. Belagerte Civitas. Hrsg. v. Michael Stürmer. — Königstein/Ts.: Verlagsgruppe Athenäum, Hain, Scriptor, Hanstein 1980. S. 288—309(Neue wissenschaftl. Bibliothek. 112.)
- Braatz, Werner: Franz von Papen und die Frage der Reichsreform. In: Politische

Vierteljahresschrift. 1975,3. S. 319—340

Braatz, Werner, E.: Die agrarisch-industrielle Front in der Weimarer Republik 1930—1932. Die Rolle der Interessengruppen als Triebkräfte des sozioökonomischen Wandels während der Weltwirtschaftskrise. In: Schmollers Jahrbuch f. Wirtschafts—u. Sozialwissenschaften. 1971,5. S. 541—565

* Bracher, Karl Dietrich: Die Auflösung der Weimarer Republik. Eine Studie zum Problem des Machtverfalls in der Demokratie. 5. Aufl. — Villingen: Schwarzwald: Ring-Verl. 1971. XXI, 710 S. (Schriften d. Inst. f. polit. Wissenschaft. 4.)

Bracher, Karl Dietrich: Brünnings unpolitische Politik und die Auflösung der Weimarer Republik. In: Vierteljahreshefte f. Zeitgeschichte. 1971,2. S. 113—123

Bracher, Karl Dietrich: Die Entstehung der Weimarer Verfassung. In: 1919-1969. Parlamentarische Demokratie in Deutschland. Mit Beiträgen von Karl Dietrich Bracher u.a. — Bonn: Bundeszentrale f. polit. Bildung 1970. S.7—22(Schriftenreihe der Bundeszentrale f. polit. Bildung.86.)

Bracher, Karl Dietrich: Parteienstaat, Präsidialsystem, Notstand. In: Von Weimar zu Hitler 1930—1933. Hrsg. v. Gotthard Jasper. — Köln, Berlin: Kiepenheuer & Witsch 1968. S.58—71(Neue wissenschaftliche Bibliothek. Geschichte. 25.)

* Brandel, Hermann: Staatliche Maßnahmen gegen den politischen Radikalismus in Baden 1930-1933. Heidelberg, Jur.Diss.1976.VI,129 S.

* Brandt,Edmund: Die Bedeutung parlamentarischer Vertrauensregelungen. Dargestellt am Beispiel von Art. 54 WRV u.Art. 67,68GG. —Berlin: Duncker u.Humboldt 1981.106 S. (Schriften z. öffentl. Recht. Bd.396.)DM 36,-

Brecht, Arnold: Aus der Zeit der trügerischen Ruhe. Äußerliche Stabilisierung, Kriseln unter der Oberfläche im Staat von Weimar 1925 bis 1927. In: FAZ 1966, 50 v. 1.3.1966. S. 11—12

Broszat, Martin: Außen—und innenpolitische Aspekte der preussisch—deutschen Minderheitenpolitik in der Ära Stresemann. In: Politische Ideologien u. nationalstaatliche Ordnung.1968.S.393—448[s.KJB 68,10165]

Broszat, Martin: "Erfassung" und Rechtsstellung von Volksdeutschen und Deutschstämmigen im Generalgouvernement. In: Gutachten d.Inst.f.Zeitgeschichte. Bd. 2. 1966. S.243—261

* Broszat, Martin: Der Staat Hitlers. Grundlegung und Entwicklung seiner innern Verfassung. 1969. 6. Aufl. — München: Dt. Taschenbuch-Verl. 1976. 472 S. (dtv-Weltgeschichte d. 20. Jahrhunderts Bd.9.)(dtv. 4009.)

Broszat, Martin: Der Staat Hitlers. Grundlegung und Entwicklung seiner innern Verfassung. In: Deutsche Geschichte seit dem Ersten Weltkrieg. 1. 1971. S. 499—839

* Broszat, Martin, Hans-Adolf Jacobsen u. Helmut Krausnick: Konzentrationslager, Kommissarbefehl, Judenverfolgung. —Olten u. Freiburg i.Br.: Walter 1965. 458 S. (Anatomie des SS-Staates. 2 = Walter-Dokuments Drittes Reich.)

- Brozek, Andrzej: Hitlers Osterlaß vom 1. Febr. 1939. In: Tradition und Neubeginn. Inst. Forschungen zur dt. Geschichte im 20. Jh. Referate u. Diskussionen eines Symposiums d. Alexander von Humboldt-Stiftung, Bonn-Bad Godesberg, veranstaltet v. 10.—15. 9. 1974 in Bad Brückenau. Hrsg. v. Joachim Hütter, Reinhard Meyers, Dietrich Papenfuss. — Köln usw. : Heymann 1975, X, S. 367—376(Internat. Fachgespräche, veranст. durch die Alexander von Humboldt-Stiftung, Bonn-Bad Godesberg.)
- Büchel, Franz: Ein Vorschlag zur Einführung der Arbeiterräte in die Staatsverfassung. In: Theorie und Praxis der direkten Demokratie. 1973. S. 134—138
- * Calic, Edouard: Ohne Maske. Hitler—Breiting—Geheimgespräche 1931. Vorwort v. Golo Mann. — Frankfurt a. M.: Societät-Verl. 1968. 233 S. DM.12,80
- Carsten, Francis L.: Die Reichswehr und die Diktatur. In: Von Weimar zu Hitler 1930—1933. Hrsg. v. Gotthard Jasper. — Köln, Berlin: Kiepenheuer & Witsch 1968. S.169—196(Neue wissenschaftliche Bibliothek. Geschichte.25)
- Conze, Werner: Die Krise des Parteienstaates in Deutschland 1929/30. In: Von Weimar zu Hitler 1930—1933. Hrsg. v. Gottard Jasper. S. 27—57
- Conze, Werner: Zur Sozialgeschichte des Kaiserreichs und der Weimarer Republik. In: Neue Politische Literatur. 1976,4.S. 507—515
- * Cremers, Hartwig: Der Toleranzantrag der Zentrumspartei. — Tübingen, Rechtswiss. Diss. v.19.2.1973. XXIII, 192 S.
- Czichon, Eberhard: Wer verhalf Hitler zur Macht ? Zum Anteil d. dt. Industrie an d. Zerströrung d. Weimarer Republik. — Köln: Pahl—Rugenstein(1967) 105 S. (Stimmen zur Zeit. 5.)
- * Dähn, Horst: Rätedemokratische Modelle. Studien zur Rätediskussion in Deutschland 1918-1919. —Meisenheim a. Glan: Hain 1975.VIII, 584 S.(Marburger Abhandlungen zur politischen Wissenschaft.Bd.30)
- Eine Denkschrift Otto Hoetzschs vom 5. November 1918. Dokumentation. In: Vierteljahreshefte für Zeitgeschichte. 1973, 3.S.337—353
- Deppe, Frank: Hätten die Gewerkschaften die Weimarer Republik retten können ? In: Das Argument. Nr.122. 1980, Juli/Aug. S. 546—560
- * Die deutschen Ostgebiete zur Zeit der Weimarer Republik. — Köln, Graz: Böhlau 1966. 232 S. (Studien z. Deutschtum im Osten.3.)
- Dickmann, Fritz: Das Ende von Weimar. In: Das historisch-politische Buch. 1969,5. S.129—132
- * Diehl, James M.: Paramilitary politics in Weimar Germany. —Bloomington and London: Indiana Univ. Pr. 1977. X, 406S.
- * Diehl-Thiele, Peter: Partei und Staat im Dritten Reich. Untersuchungen zum Verhältnis von NSDAP und allgemeiner innerer Staatsverwaltung 1933—1945. —München: Beck 1969. XIV, 269S. (Münchener Studien zur Politik. 9.)
- Dierske, Ludwig: War eine Abwehr des "Preussenschlages vom 20. Juli 1932 mög-

- lich? In: Zs. f. Politik. 1970,3. S.197—245
- Diskin, Abraham, und Michael Wolffsohn: Koalitionsverhalten in der Weimarer Republik. In: Polit. Vierteljahresschrift. 1980.2. S.174—186
- Diwald, Helmut: Literatur und Zeitgeist in der Weimarer Republik. In: Zeitgeist der Weimarer Republik. Hrsg. v. Hans Joachim Schoeps. — Stuttgart: Klett 1968. S.203—260(Zeitgeist im Wandel. 2.)
- Diwald, Helmut: Der Ernstfall als Selbstaufgabe des republikanischen Bezugs: Notverordnung und Ermächtigungsgesetz. In: Der Ernstfall. — Frankfurt a. M., Berlin, Wien: Propyläen-Verl. 1979. 236 S. (Schriften der Carl Friedrich von Siemens Stiftung. Bd.2.)
- Döring, Herbert: Skeptische Anmerkungen zur deutschen Rezeption des englischen Parlamentarismus 1917/18. In: Politische Parteien auf dem Weg zur parlamentarischen Demokratie in Deutschland. Entwicklungslinien bis zur Gegenwart. Hrsg. v. Lothar Albertin und Werner Link. — Düsseldorf: Dröste 1981. S.127—146
- Dokumente zur deutschen Verfassungsgeschichte. Hrsg. v. Ernst Rudolf Huber. Bd. 3. -Stuttgart(usw.): Kohlhammer. 3. Dokumente der Novemberrevolution und der Weimarer Republik 1918-1933. 1965. XL. 756 S.
- Domarus, Max: Wie Coburg bayerisch wurde. Vor fünfzig Jahren regelte ein Staatsvertrag den Anschluß. In: Unser Bayern. 1970,2. S.9—12
- *Das Dritte Reich. Auf dem Weg zum Zweiten Weltkrieg. Von der Besetzung Prags bis zum Angriff auf Polen. Sonderausg. f.d.Staats-u. Kommunalbehörden sowie f. Schulen u. Bibliotheken.—Berlin: Wendler 1968. XXXII, 655 S.(Ursachen u. Folgen. Vom deutschen Zusammenbruch 1918 u. 1945...13.)
- Das Dritte Reich. Die Errichtung des Führerstaates. Die Abwendung von dem System der kollektiven Sicherheit. Berlin: Dokumenten-Verl. Wendler, 1965. XXIV, 590 S.(Ursachen und Folgen. 10.)
- Das Dritte Reich. Herrschaftsstruktur und Geschichte. Vorträge aus d. Inst. f. Zeitgeschichte. Hrsg. v. Martin Broszat und Horst Möller. — München: Beck 1983. 285 S.(Beck'sche Schwarze Reihe.280.)
- Das Dritte Reich. Innere Gleichschaltung. Der Staat und die Kirchen. Antikominternpakt—Achse Rom—Berlin. Der Weg ins Großdeutsche Reich. Sonderausg. f. d. Staats-u. Kommunalbehörden sowie f. Schulen und Bibliotheken. — Berlin: Dokumenten-Verl. Wendler 1966. XXXI, 700 S. (Ursachen und Folgen vom deutschen Zusammenbruch 1918—1945 bis zur staatlichen Neuordnung Deutschlands in der Gegenwart.11.)
- Düwell, Kurt: Die geistigen Verteidiger des Weimarer Parteienstaates in der Schlußkrise der Republik. In: Vom Staat des Ancien régime zum modernen Parteienstaat. Festschrift für Theodor Schieder zu seinem 70. Geburtstag. Hrsg. v. Helmut Berding, Kurt Düwell u.a. — München, Wien: Oldenbourg

1978. S.423—437

Dupeux, Louis: Historiographie récente de la République de Weimar et du «Troisième Reich». In: Revue d'Allemagne. T.XIII, N° 1 (1981) S.123—136

Dupeux, Louis: La République de Weimar et le Troisième Reich I. Essai de Bibliographie et d'Historiographie récentes(1972—1977). In: Revue d'Allemagne. T. X, N°1 (1978) S.24—48

Dupeux, Louis: La République de Weimar et le Troisième Reich. Essai de Bibliographie et d'Historiographie récente. In: Revue d'Allemagne. T. X. N° 1(1978) S.24—48; N°2. S.275—292

* Eimers, Enno: Das Verhältnis von Preussen und Reich in den ersten Jahren der Weimarer Republik(1918-1923) — Berlin: Duncker & Humblot 1969. 496 S. (Schriften z. Verfassungsgeschichte. Bd.11.) Diss., Göttingen.

* Eksteins, Modris: Theodor Heuss und die Weimarer Republik. Ein Beitrag zur Geschichte des dt. Liberalismus. Aus. d. Engl. — Stuttgart: Klett 1969. 204 S. (Stuttgarter Beiträge zur Geschichte u. Politik.3.)

* Elben, Wolfgang: Das Problem der Kontinuität in der deutschen Revolution. Die Politik der Staatssekretäre und der militärischen Führung vom November 1918 bis Februar 1919. Hrsg. von der Kommission für Geschichte des Parlamentarismus und der politischen Parteien. — Düsseldorf: Droste-Verl. 1965. 194 S. (Beiträge zur Geschichte des Parlamentarismus und der politischen Parteien. 31.)

* Entscheidungsjahr 1932. Zur Judenfrage in der Endphase der Weimarer Republik. Ein Sammelband. Hrsg. v. Werner E. Mose unter Mitw. v. Arnold Paucker. 2. rev. u. erw. Aufl. — Tübingen: Mohr 1966. XX, 615 S. (Schriftenreihe wissenschaftl. Abhandlungen d. Leo Baeck Instituts. 13.)

* Enz, Winfried: Richterliche Kontrolle von Maßnahmen nach Art.48 II der Weimarer Reichsverfassung. Ein verfassungsgeschichtlicher Beitrag zur Frage d. richterl. Prüfung von Notstandsregelungen. — Freiburg i. Br., Rechts—u. Staatswiss. Diss. v. 9. 12. 1969(1970). XVI, 145 S.

Eppler, Erhard: Angst vor Weimar? In: Reden auf die Republik. Hrsg. v. Roderich Klett. Mit Beitr. v. Wolf Graf Baudissin u.a. — Stuttgart: Dt. Verl. Anst. 1979. S.91—97

Epstein, Klaus: Erzberger und der Kampf um die Ratifizierung des Versailler Vertrages. In: Vom Kaiserreich zur Weimarer Republik. 1972. S.308—329.

Eschenburg, Theodor: Systemzusammenbruch als historische Phänomen — Weimar. In: Regierbarkeit. Studien zu ihrer Problematisierung. Hrsg. von Wilhelm Hennis, Peter Graf Kielmansegg und Ulrich Matz. Bd.2. — Stuttgart: Klett—Cotta 1979. S.47—101

Eschenburg, Theodor: Lehren für die Terrorbekämpfung aus Art.48 der Weimarer Verfassung. In: Zs. f. Parlamentsfragen. 1977,4.S. 457—460

- Fauck, S. : Behandlung von deutsch—jüdischen Mischehen. In: Gutachten d.Inst.f. Zeitgeschichte. Bd. 2. 1966. S.26—28
- Fauck, S. : Mitnahme von Devisen und Schmuckstücken bei Auswanderung von Juden. In: Gutachten d.Inst.f.Zeitgeschichte. Bd. 2. 1966. S.23—26
- Fauck, S. : Verfolgung von Mischlingen in Deutschland und im Reichsgau Wartheland. In: Gutachten d.Inst.f.Zeitgeschichte. Bd. 2. 1966. S.29—31
- Fauck, S. : Vermögensbeschlagnahmen an jüdischem Eigentum vor dem Erlaß der 11. DVO zum Reichsbürgergesetz. In: Gutachten d. Inst. f. Zeitgeschichte. Bd.2. 1966.S.25—26
- Fraenkel, Ernst: Der Doppelstaat. Recht und Justiz im Dritten Reich. —Frankfurt a. M.: Fischer Taschenbuch Verl. 1984. IV.257 S.(Fischer Taschenbuch 4305)
- Fraenkel, Ernst: Rätemythos und soziale Selbstbestimmungen. Ein Beitrag zur Verfassungsgeschichte der deutschen Revolution. In: Der Staat als Aufgabe. Gedenkschrift f. Max Imboden. Hrsg. v. Peter Saladin u. Luzius Wildhaber. — Basel u. Stuttgart: Helbing u. Lichtenhahn 1972. S.75—114
- Freyh, Richard: Stärke und Schwäche der Weimarer Republik. In: Die Weimarer Republik. Hrsg. von Walter Tormin. Mit Beiträgen von...7.Aufl.— Hannover: Fackelträger Verl.1973. S.137—190(Edition Zeitgeschehen. 4.)
- Friedrich, Manfred: Die Grundlagendiskussion in der Weimarer Staatsrechtslehre. In: Politische Vierteljahresschrift. 1972, 4. S.582—598
- Friedrich, Manfred: Der Methoden— und Richtungstreit. Zur Grundlagendiskussion der Weimarer Staatsrechtslehre. In: AöR Bd.102,1977,2. S.161—209
- Frosini, Vittorio: La democrazia pericolante.(Note storiche sull'articolo 48 della Costituzione di Weimar.) In: Diritto e società; 1979,2. S.315—328
- Friesenhahn, Ernst: Zur Legitimation und zum Scheitern der Weimarer Reichsverfassung. In: Weimar. Selbstpreisgabe einer Demokratie. Eine Bilanz heute. Kölner Kolloquium der Fritz-Thyssen-Stiftung June 1979. Hrsg. Karl Dietrich Erdmann [u.] Hagen Schulze. — Düsseldorf: Droste 1980. S.81—108
- Friesenhahn, Ernst: Staatsgewalt und Rechtskontrolle. Lectio aurea aus Anlaß des goldenen Habilitationsjubiläums, geh. am 8. Mai 1982 im kleinen Festsaal der Univ. Bonn. In: Demokratie in Anfechtung und Bewährung. Festschrift für Johannes Broermann. Hrsg. v. Joseph Listl und Herbert Schambeck. — Berlin: Duncker & Humboldt 1982. S.517—554
- Fries-Thiessenhusen, Karen: Politische Kommenare deutscher Historiker 1918/19 zu Niederlage und Staatsumsturz. In: Vom Kaiserreich zur Weimarer Republik. 1972. S.349—368
- Gamm, Hans-Joachim: Politisches Fehlverhalten als Problem des Geschichtsunterrichts. Die Führererwartung in der Weimarer Republik. In: Frankfurter Hefte. 1968,6. S. 390—402
- *Gay, Peter: Die Republik der Außenseiter. Geist und Kultur in der Weimarer Zeit:

- 1918-1933. Mit e. Einl. Karl Dietrich Bracher. Aus d. Amerikan. — Frankfurt a. M.: S.Fischer 1970.256S.
- * Gerlach, Hellmut von: Ein Demokrat kommentierte Weimar. Die Berichte Hellmut von Gerlachs an die Carnegie-Friedensstiftung in New York 1922-1930. Hrsg., Eingel. u. erl. v. Karl Holl u. Adolf Wild. Mit e. Vorw. v. Alfred Kantorowicz. — Bremen: Schönmeyer 1973. 268 S.
- * Gesetze des NS-Staates. Zusammengestellt von Uwe Brodersen. Mit e. Einl. von Ingo von Jülich. — Bad Homburg v.d.H., Berlin, Zürich: Gehlen 1968. 195 S. (Gehlen—Texte.2.)
- Gestigkeit, Werner: Die Totalitarismus — Legende. Das Ende der Weimarer Republik im offiziellen Geschichtsbild der BRD. In: Blätter f. dt. u. internat. Politik. 1977,3. S. 318—341
- * Gilsa, Friedrich-Wilhelm von und zu: Die Weimarer Wehrverfassung. Verfassungsrecht—Verfassungswirklichkeit. —Würzburg. Jur.Diss. v. 31. 5. 1972(1969).XXIII, 123,XI S.
- Gordon, Harold J. : Politischer Terror und Versailler Abrüstungsklausel in der Weimarer Republik. In: Wehrwissenschaftliche Rundschau. 1966, 1. S.36—54
- Graml, Hermann: Präsidialsystem und Außenpolitik. In: Vierteljahreshefte f. Zeitgeschichte. 1973,2. S.134—145
- Graml, Hermann: Zur Stellung der Mischlinge 1. Grades. In: Gutachten d.Inst.f. Zeitgeschichte. Bd.2. 1966. S.31—32
- Grebing, Helga: Konservative Republik oder soziale Demokratie ? In: Vom Kaiserreich zur Weimarer Republik. 1972. S. 386—403
- Grebing, Helga: Konservative Republik oder soziale Demokratie ? In: Gewerkschaftliche Monatshefte. 1969,1. S. 18—27
- Grebing, Helga: Die Linke in der Weimarer Republik. Ein Literatur- und Forschungsbericht. In: Politische Studien. 1967,173.S.334—340
- Grimm, Gerhard: Das "Dritte Reich" in Quellen und Darstellungen.In:Politische Studien. 1964,155. S. 343—350; 1965,161. S. 341—349
- Groh, Dieter: Die Sozialdemokratie im Verfassungssystem des 2. Reiches. In: Sozialdemokratie zwischen Klassenbewegung und Volkspartei. Verhandlungen der Sektion "Geschichte der Arbeiterbewegung" des Dt. Historikertages in Regensburg, Okt. 1972. Hrsg.: Hans Mommsen. Red.: Brigitte Schwab. —Frankfurt a.M.: Athenäum Fischer Taschenbuch Verl. 1974. S. 62—83 (Fischer Athenäum Taschenbücher. 4045)
- Gruchmann, Lothar: "Blutschutzgesetz" und Justiz. Zur Entstehung und Auswirkung des Nürnberger Gesetzes vom 15. Sept. 1935. In: Vierteljahreshefte für Zeitgeschichte. 1983,3. S.418—442
- * Grund, Henning: "Preußenschlag" und Staatsgerichtshof im Jahre 1932. — Baden —Baden: Nomos Verl. Ges. 1976. 167 S.(Studien und Materialien zur Verfassung-

gsgerichtsbarkeit.5.)

- * Günther, Wolfgang: Die Revolution von 1918/19 in Oldenburg.—Oldenburg: Holzberg 1979. 247 S.(Oldenburger Studien. Bd.18.)
- * Habel, Bernd: Verfassungsrecht und Verfassungswirklichkeit. Eine Untersuchung zum Problem Reich—Länder, gezeigt am Beisp. Bayerns unter dem Kabinette Held(1924—1933). - München, Phil. Diss. 1968. XII, 265 S.
- Haffner, Sebastian: Süßer Schrecken für das Bürgertum. Zwei wichtige Dokumente aus der Endphase von Weimar. Rezension zu : Edouard Calic: Ohne Maske. Frankfurt 1968. In: Die Zeit. 1969,8. v. 21. 2. 69. S.23
- Hammerschmidt, Rudolf: Die Politik der Schlagworte. Der Kampf der bürgerlichen Rechtspresse gegen die Weimarer Republik. In: Die neue Gesellschaft. 1970,2. S. 160—169
- Hättich, Manfred: Plebiszit und Repräsentation in Verfassung und Staatspraxis 1919 bis 1969. In: 1919-1969. Parlamentarische Demokratie in Deutschland. 1970. S. 45—53
- Hartmann, Volker: Zur Staatsrechtslehre der Weimarer Verfassung. Ein Beitrag z. Untersuchung d. Repräsentationsproblems. In: Jahrbuch d. öffentl. Rechts d. Gegenwart. Bd.29. 1980.S. 43—61
- * Hase, Friedhelm: Richterliche Prüfungsrecht und Staatsgerichtsbarkeit. Zu den Auseinandersetzungen über Formen einer justiziellen Kontrolle der parlamentarischen Gesetzgebung in Weimar. — Gießen, Rechtswiss. Diss. (um 1979). XVI, 310S.
- * Hasenkamp, Holger, G.: Die freie Hansestadt Bremen und das Reich 1928-1933. Eine verfassungsgeschichtl. Untersuchung. — Bremen: Staatsarchiv d. Freien Hansestadt Bremen 1981. 301 S. (Veröffentlichungen aus d.Staatsarchiv. Freien Hansestadt Bremen. 47.)Zugl. Freiburg i.Br., Rechtswiss. Diss.
- * Haugg Rudolf: Die Anwendung des Artikel 48 WRV. Verfassungsgeschichtliche Betrachtung der Anwendungsfälle des Artikel 48 der Weimarer Reichsverfassung und seiner Bedeutung für die Mächtergreifung Hitlers. —Würzburg, Rechtswiss. Diss.v.3.6. 1976(1975). XXX, 186 S.
- * Haungs: Peter: Reichspräsident und parlamentarische Kabinettsregierung. Eine Studie z. Regierungssystem d. Weimarer Republik in d.Jahren 1924 bis 1929. —Köln, Opladen: Westdt. Verl.1968. 362 S. (Polit. Forschungen.9.) DM 24.-
- Heiber, Helmut: Die Republik von Weimar. in: Deutsche Geschichte seit dem Ersten Weltkrieg. 1.1971.S.11—211
- * Heiber, Helmut: Die Republik von Weimar. 3. Aufl. — München: Dt. Taschenbuch Verl. 1968. 282 S. (dtv-Weltgeschichte d. 20. Jahrhunderts. 3.)(dtv. 4003)
- Helfer, Christian: NS-Zeit oder Drittes Reich? In: Zs. f. Politik. 1966,4. S. 483—484
- * Hempfer, Walter: Die nationalsozialistische Staatsauffassung in der Rechtsprechung des Preußischen Oberverwaltungsgerichts. Dargelegt an ausgewählten Beisp.

- rechtsstaatl. Grundsätze. — Berlin: Duncker & Humblot 1974. 189 S. (Schriften z. öffentl. Recht. Bd. 241.)
- * Hermann, Hans H.: Weimar. Bestandsaufnahme einer Republik. — Reinbeck: Rowohlt 1969. 172 S. (rororo-tele.2.)
- Heß, Jürgen C. : Wandlungen im Staatsverständnis des Linksliberalismus der Weimarer Republik 1930 bis 1933. In: Wirtschaftskrise und liberale Demokratie. Das Ende d.Weimarer Republik und die gegenwärtige Situation. Mit Beitr. von...Hrsg. von Karl Holl. — Göttingen: Vandenhoeck & Ruprecht 1978. S. 46—88 (Kleine Vandenhoeck—Reihe. 1449.) DM.15,80
- Heß, Jürgen C. : Weimar und der demokratische Nationalismus. In: Liberal 1977.1. S. 28—42
- Hesse, Konrad: Der Bedeutungswandel der kirchenpolitischen Artikel der Weimarer Reichsverfassung(1961). In: Staat und Kirchen in der Bundesrepublik. Staatskirchenrechtliche Aufsätze 1950—1967. Hrsg. v. Helmut Quaritsch und Hermann Weber. —Bad Homburg v.d.H., Berlin, Zürich: Gehlen 1967. S. 221—229 (Dokumentationen z. öffentlichen Recht, 1.)
- Hesse, Konrad: Inhalt und Bedeutung des Art. 137 RV in der Gegenwart(1956). In: Staat und Kirchen in der Bundesrepublik. 1967. S.121—138
- * Heuss, Theodor: Die Machtergreifung und das Ermächtigungsgesetz. 2. nachgelassene Kapitel der "Erinnerungen 1905—1933". Hrsg. v. Eberhard Dikat. — Tübingen: Wunderlich 1967. 55 S.
- Hiller, v. Gaertringen, Friedrich Frhr.:Zur Beurteilung des "Monarchismus" in der Weimarer Republik. In: Tradition und Reform in der deutschen Politik. Gedenkschrift f. Waldemar Besson. Dargebracht von Freunden, Kollegen und Beurteilung Schülern. Hrsg. v. Gotthard Jasper. — Frankfurt a. M., Berlin, Wien: Propyläen—Verl. 1976. S.138—186
- Hillgruber, Andreas: Die politische Kräfte der Mitte und die Auflösung der Weimarer Republik. In: Am Endepunkt der europäischen Geschichte. Beiträge v... Hrsg. v. Otmar Franz. — Göttingen, Zürich: Münster-Schmidt 1981. S. 107—134
- Hillgruber, Andreas: Die Auflösung der Weimarer Republik. In:Die Weimarer Republik. Hrsg. von Walter Tormin. Mit Beiträgen von...7. Aufl. — Hannover: Fackelträger Verl. 1973. S. 191—252(Edition Zeitgeschehen. 4.)
- * Hirsch, Helmut: Experiment in Demokratie. Zur Geschichte der Weimarer Republik. — Wuppertal: Hammer 1972. 184 S.
- * Hömig, Herbert: Das Preußische Zentrum in der Weimarer Republik. — Mainz: Matth. — Grünewald—Verl. 1979. XLVIII, 336 S.(Veröff. d. Komm. f. Zeitgeschichte. Reihe B: Forschungen. Bd. 28.)
- Hofmann, Wolfgang: Plebiszitäre Demokratie und kommunale Selbstverwaltung in der Weimarer Republik. In: Archiv f. Kommunalwissenschaften. 1965.2. S. 264

- Hubatsch, Walther: Reichswehr und Weimarer Republik. In: Was weiter wirkt. Beiträge zur Geschichte des 20. Jahrhunderts. Von Heinz Gollwitzer[u.a.] Hrsg. von Otmar Franz. — Stuttgart: Seewald 1971. S. 154—176
- * Huber, Ernst Rudolf: Deutsche Verfassungsgeschichte seit 1789. Bd. 6: Die Weimarer Reichsverfassung. — Stuttgart: Kohlhammer 1981. XLIV, 1146 S.
- Huber, Ernst Rudolf: Friedrich Naumanns Weimarer Grundrechts-Entwurf. Der Versuch eines Modells der Grundwerte gegenwärtigen Daseins. In: Festschrift für Franz Wieacker zum 70. Geburtstag. Hrsg. von Okko Behrends, Malte Diebelhorst[u.a.]—Göttingen: Vandenhoeck & Ruprecht 1978. S. 384—398
- Huber, Ernst Rudolf: Rechtsfragen der Novemberrevolution. Die Anerkennung der revolutionären Staatsgewalt und Staatsordnung in der deutschen Rechtsprechung nach 1918. In: Festschrift für Friedrich Schaffstein zum 70. Geburtstag am 28. Juli 1975. Hrsg. von Gerald Grünwald, Olaf Miehe[u.a.]—Göttingen: Schwarz 1975. VIII, S. 53—76
- Huber, Ernst Rudolf: Verfassungswirklichkeit und Verfassungswert im Staatsdenken der Weimarer Zeit. In: Arbeiten zur Rechtsgeschichte. Festschrift für Gustav Clemens Schmelzeisen. Im Auftrage d. Karlsruher Geistes- u. Sozialwissenschaftl. Fakultät. Hrsg. v. Hans-Wolf Thümmel.—Stuttgart: Klett-Cotta 1980.S.126—141(Karlsruher Kulturwissenschaftl. Arbeiten. Bd.2)
- * Hürten, Heinz: Reichswehr und Ausnahmezustand. Ein Beitrag zur Verfassungsproblematik d. Weimarer Republik in ihrem ersten Jahrfünft. Opladen: Westdt. Verl. 1977. 48S.(Rheinisch-Westfäl. Akademie d. Wissenschaften. Geisteswissenschaften. Vorträge. G 222.)
- Hunt, Richard N.: Friedrich Ebert und die deutsche Revolution von 1918. In: Vom Kaiserreich zur Weimarer Republik. 1972. S.120—137
- Iber, Harald: Kirche und Staat. Äußerungen einiger Lutheraner am Ende der Weimarer Republik. In: Richte Unsere Füße auf den Weg des Friedens. Helmut Gollwitzer zum 70. Geburtstag. Hrsg. v. Andreas Baudis, Dieter Klausert [u.a.]. Unter Mitarb. v... — München: Kaiser 1979. S.514—521
- Jacosen, Hans—Adolf: Zum Verhältnis von Heer und Staat in der Weimarer Republik. In: Aus Politik und Zeitgeschichte. 1966, B 41. S.23—31
- Jasper, Gottard: Die Grundrechtsdebatte in der Weimarer Republik. In: Menschenrechte in Israel und Deutschland. Ein Symposium der Gesellschaft zur Förderung d. wiss. Zusammenarbeit mit d. Univ. Tel Aviv. Hrsg.: Gustav Stein. — Köln: Verl. Wissenschaft und Politik 1978. S.109—121
- Jasper, Gottard: Justiz und Politik in der Weimarer Republik. In: Vierteljahreshefte f. Zeitgeschichte. 1982,2. S.167—205
- Jasper, Gottard: Preußen und die deutsche Republik — Belastung oder Bollwerk ? In: Dt. Verwaltungspraxis. 1981,8/9. S.188—193

- Jenschke, Bernhard: Zur Kritik der konservativrevolutionäre Ideologie in der Weimarer Republik. Weltanschauung und Politik bei Edgar Julius Jung. —München: Beck 1971. 200 S.(Münchener Studien zur Politik. 16.)
- Janßen, Karl-Heinz: Die ungewollte Revolution. In: Fünfzig Jahre deutsche Republik. Entstehung—Scheitern—Neubeginn. Hrsg. v. Friedrich Arnold Krummacher.—Frankfurt a.M.: Norddt. Verlagsanst. 1969. 164 S. (Politik u. Geschichte unserer Zeit.1.)
- Kadritzke, Niels: Faschisierung der Weimarer Republik und NS-Diktatur. In: Das Parteiensystem der Bundesrepublik. Geschichte. Entstehung. Entwicklung. Eine Einführung. Hrsg. v. Dietrich Staritz: —Opladen: Leske und Bundrich 1976. S. 47—63(Uni—Taschenbücher. 577.)
- Kaiser, Andreas: Arbeitsrechtswissenschaft und Gewerkschaften gegen Ende der Weimarer Zeit. In: Das Recht d. Unrechtsstaates. Arbeitsrecht und Staatsrechtswissenschaften im Faschismus. Udo Reifner(Hrsg.).-Frankfurt a.M., New York: Campus-Verl. 1981. S. 130—153
- Kallenberg, Fritz: Staat und Gesellschaft im Kaiserreich und in der Weimarer Republik. In: Der freie Bürger. (Beil.z.Staats-Ztg.f.Rheinland-Pfalz.) 1965,4.S. 1—3; 1965,5. S.1—2, 1965,7. S.1—3
- Kallenberg, Fritz: "Die Staatsgewalt geht vom Volke aus". In: Der freie Bürger. 1969, 9/10. S. 1—6
- * Kimmel, Hans-Dieter : Der Belagerungs- bzw. Ausnahmezustand im Deutschen Reich von 1919—1921.—Göttingen, Jur. Diss. v.24. 2. 1969(1971).-XIII, 228S., 22 gez.Bl.
- Kirchheimer, Otto: Staatsgefüge und Recht des dritten Reiches. Mit einer Einleitung von Wolfgang Luthardt. In: Kritische Justia. 1976. 1. S. 33—59
- * Kirchheimer, Otto: Von der Weimarer Republik zum Faschismus: Die Auflösung der demokratischen Rechtsordnung. Hrsg. von Wolfgang Luthardt. —Frankfurt a. M.: Suhrkamp 1976. 255S.(edition suhrkamp. 821.)
- Klein, Fritz: Zur Vorbereitung der faschistischen Diktatur durch die deutsche Großbourgeoisie(1929—1932). In: Von Weimar zu Hitler 1930—1933. Hrsg. v. Gotthard Jasper. — Köln, Berlin: Kiepenheuer & Witsch 1968. S. 124—155(Neue wissenschaftliche Bibliothek. Geschichte. 25.)
- * Klenner, Jochen: Verhältnis von Partei und Staat 1933—1945. Dargest. am Beispiel Bayerns. — München: Wölfle i. Komm. 1974. XIII, 364 S. (Miscellanea bavarica monacensia.54.)(Neue Schriftenreihe d. Stadtarchivs. München.72.) Zugl. Diss.
- Kluge, Hans Dieter: Verhältnis von SPD und Parlamentarismus: Koalition, Tolerierung, Opposition. In: Sozialdemokratische Arbeiterbewegung und Weimarer Republik. Materialien zur gesellschaftl. Entwicklung 1927—33. Hrsg. von Wolfgang Luthardt. Bd.1.Frankfurt a.M.: Suhrkamp 1978. S. 9—82(Edition Suhrkamp.923)

- * Köppl, Peter: Meinungsfreiheit und Arbeitsverhältnis. Eine Studie zur Grundrechtsdrittwirkung in der Weimarer Republik. Frankfurt a. M., Rechtswiss. Diss. v. 15.2.1978. VIII, 218 S.
- Köhler, Henning: Arbeitsbeschaffung, Siedlung und Reparationen in der
 * Schlußphase der Regierung Brüning. In: Vierteljahreshefte f. Zeitgeschichte. 1969,3. S. 276—307
- * Köhler, Henning: Geschichte der Weimarer Republik. Colloquium Verl. 1981. 95 S. (Beiträge zur Zeitgeschichte.Bd.4.)
- Köhler, Henning: Sozialpolitik von Brüning bis Schleicher. In: Vierteljahreshefte f. Zeitgeschichte. 1973,2. S. 146—150
- Kolb, Eberhard: Rätewirlichkeit und Räte-Ideologie in der deutschen Revolution von 1918/19. In: Vom Kaiserreich zur Weimarer Republik.1972. S. 165—184
- * Krekeler, Norbert: Revisionsanspruch und geheime Ostpolitik der Weimarer Republik. Die Subventionierung d.dt. Minderheit in Polen.—Stuttgart: Dt. Verl. -Anstalt 1973.158 S. (Schriftenreihe d. Vierteljahreshefte f.Zeitgeschichte.27.) DM 16,80.
- * Kroß, Peter: Der Einsatz der Streitkräfte im Innern unter der Herrschaft der Weimarer Reichsverfassung. — Göttingen, Jur. Diss. v.4.2.1971(1970). XXIII, 254 S.
- * Krüger, Peter: Deutschland und die Reparationen 1918/19. Die Genesis des Reparationsproblems in Deutschland zwischen Waffenstillstand und Versailler Friedensschluß. — Stuttgart: Dt. Verl. -Anstalt 1973. 224S. (Schriftenreihe d.Vierteljahreshefte f. Zeitgeschichte.25)DM 24,-
- * Krumbein, Wolfgang: Arbeiterregierung und Einheitsfront. Eine krit. Aktualisierung d. Arbeiterregierungs-konzeption u.Einheitsfrontpolitik aus d.Weimarer Republik. Mit e. Charakterisierung d. heutigen sozialist. u. kommunist. Parteien Westeuropas. 2. Aufl.—Göttingen: Sovec 1977. VII,185S. (Beiträge z.marxist. Theorie u. Politik. Nr.1.)DM. 12,-
- Krummacher, Friedrich Arnold: Die Auflösung der Monarchie. In: Die Weimarer Republik. Hrsg. von Walter Tormin. Mit Beiträgen von... 7. Aufl. — Hannover: Fackelträger Verl. 1973. S. 9—81(Edition Zeitgeschehen. 4.)
- Krummacher, Friedrich Arnold: Fünfzig Jahre deutsche Republik. In: Fünfzig Jahre deutsche Republik. Entstehung — Scheitern — Neubeginn. Hrsg. v. Friedrich Arnold Krummacher. — Frankfurt a. M.: Norddt. Verlagsanst. 1969.S. 7—11(Politik u. Geschichte unserer Zeit.1.)
- Küchenhoff, Erich: Machtübernahme und Verfassungsmißbrauch. Folgerungen aus 30. Januar und 23. März 1933. In: Die Neue Gesellschaft. 1983,6. S. 557—564
- * Lange, Karl: Hitlers unbeachtete Maximen. "Mein Kampf" und die Öffentlichkeit. — Stuttgart usw. : Kohlhammer 1968. 211 S. (Geschichte und Gegenwart)
- * Laubach, Ernst: Die Politik des Kabinetts Wirth 1921/22. — Lübeck u. Hamburg:

- Matthiesen 1968. 344 S. (Historische Studien.402.)DM 44,-
- Laufenberg, Heinrich: Die Räteidee in der Praxis des Hamburger Arbeiterrats. In: Theorie u.Praxis der direkten Demokratie. 1973.S.51—78
- * Lehmann, Hans Georg: In Acht und Bann. Politische Emigration, NS-Ausbürgerung und Wiedergutmachung am Beispiel Willy Brandts. — München : Beck 1976. 387 S.
- * Leisner, Walter: Der Führer. Persönliche Gewalt, Staatsrettung oder Staatsdämmerung? — Berlin: Duncker & Humblot 1983. 398S.
- * Lektionen nach Weimar. Gedanken zur heutigen politischen Kultur. Von...Hrsg.: Claus-Jürgen Roepke. — München: Kaiser 1983. 130 S.(Tutzinger Texte.) (Kaiser-Traktate.)
- Lemma, Ernst: Der ungewollte Staat. Warum die Weimarer Republik scheiterte. In: Die politische Meinung. 1967,4. S. 46—53
- Link, Werner: Der amerikanische Einfluß auf die Weimarer Republik in der Dawesplanphase. In: Aus Politik u. Zeitgeschichte. 1973. 45. S.3—12
- Lipphardt, Hans-Rudolf: Öffentlichkeitsarbeit-Polizeikosten-Wahlkampffinanzierung. Eine historische Notiz zur Reichspräsidentenwahl 1932. In: JZ 1976,18.S. 552—554
- * Loewenstein, Karl: Erscheinungsformen der Verfassungsänderung. Verfassungsrechtsdogmatik.Untersuchungen zu Artikel 76 d.Reichsverfassung. Neudr.d.Ausg. Tübingen 1931. — Aalen: Scientia-Verl. 1968. XVII, 308 S. DM 50,-
- Lucas, Erhard: Ausnahmezustand in den ersten Jahren der Weimarer Republik. In: Kritische Justiz. 1972,2. S. 163—174; 1972,4. S. 382—394
- Luthardt, Wolfgang: Der Nationalsozialismus als Unrechtsstaat. Zwei zeitgenössische sozialdemokrat. Analysen von Ernst Fraenkel und Franz Neumann. In: Recht und Politik. 1983,4. S.202—207
- Luthardt, Wolfgang: Unrechtsstaat oder Doppelstaat? Kritisch-theoretische Reflektionen über die Struktur des Nationalsozialismus aus der Sicht demokrat. Sozialisten. In: Recht, Rechtsphilosophie und Nationalsozialismus. Vorträge aus der Tagung der Deutschen Sektion des Internationalen Vereinigung für Rechts-und Sozialphilosophie(IVR) in der Bundesrepublik Deutschland vom 11. und 12. Okt. 1982 in Berlin (West). Hrsg. v. Hubert Rottleuthner. Wiesbaden: Steiner 1983. S. 197—209(Archiv für Rechts-und Sozialphilosophie. Beiheft(N.F) Nr.18)
- Maier, Reinhold: Die Gründung des Länderrats vor 20 Jahren. In: Staatsanzeiger f. Baden-Württemberg. 1965,94. S. 3—4
- Maizière, Ulrich de: Zum 20. Juli 1944. In: de Maizière: Soldatische Führung—heute. 1966. S. 35—40
- * Majer, Diemut: "Fremdvölkische" im Dritten Reich. Ein Beitrag zur nationalsozialistischen Rechtssetzung u. Rechtspraxis in Verwaltung u.Justiz unter bes.

- Berücks. der eingegliederten Ostgebiete u. des Generalgouvernements. —Boppard: Boldt 1981. 1034 S.(Schriften d.Bundesarchivs. 28.)
- Majer, Diemut: Der Kampf um die Einführung des preußischen Polizeiverwaltungsgesetzes in den "eingegliederten Ostgebieten." Ein Beitrag zum Prozeß der politischen Willensbildung im totalitären Staat. In: Der Staat. Bd.17. 1978,1. S. 49—72
- Mann, Golo: Demokratie in Deutschland 1919 und 1949. In:1919—1969. Parlamentarische Demokratie in Deutschland. 1970. S.23—34
- * Mantl, Wolfgang: Die nationalsozialistischen Herrschaftsmethoden.—Leibnitz: Volksbildungsheim Retzhof des Landes Steiermark 1968.21 gez. Bl.(Politische Bildung. 7=Retzhof-Schriften.) öS 5.-
- Marwedel, Rainer: Konstruktion und Kampf. Bruchlinien sozialdemokratischer Verfassungspolitik. In: Sozialdemokratische Arbeiterbewegung und Weimarer Republik. Materialien zur gesellschaftl. Entwicklung 1927—33. Hrsg. von Wolfgang Luthardt. Bd.2.—Frankfurt a. M.: Suhrkamp 1978. S.7—55 (Edition Suhrkamp.924.)
- Matthias, Erich: Der Rat der Volksbeauftragten. Zu Ausgangsbasis und Handlungsspielraum der Revolutionsregierung. in: Vom Kaiserreich zur Weimarer Republik. 1972. S.103—119
- Matthias, Erich, und Rudolf Morsey: Die Bildung der Regierung des Prinzen Max von Baden. In: Vom Kaiserreich zur Weimarer Republik. 1972. S.63—76
- Maus, Ingeborg: Zur "Zäsur" von 1933 in der Theorie Carl Schmitts. In: Der Unrechts-Staat. 1979. S.47—58
- * Meinck, Jürgen: Weimarer Staatslehre und Nationalsozialismus. Eine Studie zum Problem der Kontinuität im staatsrechtlichen Denken in Deutschland 1928 bis 1936.—Frankfurt, New York: Campus Verl. 1978. 367 S.(Campus Forschung. Bd.41)
- Michel, Bertram: Die Entwicklung der Arbeitsgerichtsbarkeit in dem Faschismus. In: Das Recht d. Unrechtsstaates. In: Arbeitsrecht und Staatsrechtswissenschaften im Faschismus. Udo Reifner (Hrsg.)—Frankfurt a.M., New York: Campus-Verl. 1981. S.154—177
- * Milatz, Alfred: Wähler und Wahlen in der Weimarer Republik. (Hrsg.: Bundeszentrale für politische Bildung.) Bonn 1965. 152 S., 15 Kt. in Tasche. (Schriftenreihe d. Bundeszentrale f. politische Bildung. 66.)
- Miller, Susanne: Die Entscheidung für die parlamentarische Demokratie. In: Fünfzig Jahre deutsche Republik. Entstehung—Scheitern —Neubeginn. Hrsg. v. Friedrich Arnold Krummacker. —Frankfurt a. M.: Norddt. Verlagsanst.(Politik u. Geschichte unserer Zeit.1.)— 1969. S.60—81
- Mirgeler, Albert: Das Hitlerreich im Rückblick zweier Jahrzehnte. In: Merkur. 1965, 206. S. 472—481

- * Misch, Axel: Das Wahlsystem zwischen Theorie und Taktik. Zur Frage von Mehrheitswahl u. Verhältniswahl in der Programmatik der Sozialdemokratie bis 1933. —Berlin: Duncker u. Humblot 1974. 290 S. (Beiträge z. polit. Wissenschaft. 17.) Zugl. Phil.Diss.Freiburg i.Br.v.1971.DM 68,60
- Mommsen, Hans: Stellung, Aufgaben und Befugnisse der in den Ostgebieten eingesetzten Gebietskommissare im Zweiten Weltkrieg. In: Gutachten d. Inst.f. Zeitgeschichte. Bd.2.1966.S.310—311
- Mommsen, Hans: Beamtentum und Staat in der Spätphase der Weimarer Republik. In: Am Wendepunkt der europ. Geschichte. Beiträge v....Hrsg. Otmar Franz. —Göttingen, Zürich: Muster-Schmidt 1981. S. 131—154
- Mommsen, Hans: Beamtentum und Staat in der Spätphase der Weimarer Republik. In: Dt. Verwaltungspraxis. 1981,8/9. S. 194—201
- Mommsen, Hans: Rechtsstellung des Reichskommissariats Ukraine. In: Gutachten d. Inst. f. Zeitgeschichte. Bd.2. 1966. S. 328—332
- Mommsen, Hans: Die Stellung der Beamtenschaft in Reich, Ländern und Gemeinden in der Ära Brüning. In: Vierteljahreshefte f. Zeitgeschichte. 1973,2. S. 151—165
- Mommsen, Hans: Staat und Bürokratie in der Ära Brüning. In: Tradition und Reform in der deutschen Politik. Gedenkschrift f. Waldemar Besson. Dargebracht von Freunden, Kollegen und Schülern. Hrsg. von Gotthard Jasper. —Frankfurt a.M., Berlin, Wien: Propyläen-Verl. 1976. S. 81—137
- Mommsen, Hans: Tätigkeit des "Reichskommissars für die Festigung deutschen Volkstums" in den dem Deutschen Reich einzugliedernden jugoslawischen Gebieten. Im: Gutachten d. Inst. f. Zeitgeschichte. Bd. 2. 1966. S.232—235
- Möller, Horst: Verwaltungsstaat und parlamentarische Demokratie: Preußen 1919—1932. In: Regierung, Bürokratie und Parlament...1983.S. 149—180
- Morsey, Rudolf: Die Weimarer Reichsverfassung von 1918. Entstehung, Inhalt und Lehren. In: Freiheitliche Verfassungspolitik-Erfahrungen und Maßstäbe des Grundgesetzes. Mit Beitr. von... Red., Armin D. Pawlik.—Stuttgart: Verl. Bonn aktuell 1979. S. 39—61
- * Nationalsozialistische Massentötungen durch Giftgas. Eine Dokumentation. Hrsg. v. Eugen Kogon, Hermann Langbein[u.a.]—Frankfurt a.M.: S.Fischer 1983.350 S.
- Negri, Guglielmo: The rise and fall of the fascist constitution. In: Il politico. 1982,3. S.449—478
- * Nesemann, Ulf: Notverordnungsrecht und-praxis in den Ländern der Weimarer Republik.—Göttingen, Jur. Diss. v. 4. 7. 1973. XVIII, 199 S.
- * Neumann, Sigfried: Nacht über Deutschland. Vom Leben und Sterben einer Republik.—München: List 1978. 131 S.
- * Neumann, Sigmund: Die Parteien der Weimarer Republik. Mit e. Einf. von Karl Dietrich Bracher. 3.Aufl.—Stuttgart: Kohlhammer 1973.148S.(Urban-

Taschenbücher.175.)

- * Neunzehnhundertneunzehn 1919-1969. Parlamentarische Demokratie in Deutschland. Mit Beiträgen von Karl Dietrich Bracher u.a.—Bonn: Bundeszentrale f.polit. Bildung 1970.127 S.(Schriftenreihe der Bundeszentrale f. polit. Bildung.86.)
- * Neusel, Werner: Höchstrichterliche Strafgerichtsbarkeit in der Republik von Weimar.—Frankfurt a.M.:Athenäum Verl. 1972.VII, 110S.
- * Niekisch, Ernst:Die Legende von der Weimarer Republik. Mit e. einleit. Essay von Bodo Scheurig.—Köln: Verl. f.Wissenschaft u. Politik 1968.238 S.
Niemann, Hans-Werner: Weimarer Staatsrechtslehre und Politik. Dargest. am Beispiel d. Prozesses "Preussen contra Reich" vor dem Staatsgerichtshof(Okt. 1932). In: Uni Hannover. Zs.d.Universität Hannover. 1980,2. S.35—39
Nitschke, August: Warum unterstützten Deutsche Hitler? Wirtschaftl., polit. menschl. Gründe. In: Lektionen nach Weimar. 1983. S.10—24
Die Novemberrevolution in der Sicht der kommunistischen Geschichtswissenschaft: Thesen des Zentralkomitees der SED über "Die November-Revolution 1918 in Deutschland". In: Vom Kaiserreich zur Weimarer Republik. 1972. S.369—385
- * Nowak, Kurt: Evangelische Kirche und Weimarer Republik. Zum politischen Weg d. dt.Protestantismus zwischen 1918 u. 1932.—Göttingen:Vandenhoeck u. Ruprecht 1981. 358S. DM 68,—
Pätzold, Kurt: Klerikalfaschistische Bestrebungen am Ausgang der Weimarer Republik. In: Wissenschaft. Zs. d. Humboldt-Univ. z. Berlin. 1970,2, S.127—137
- * Papen, Franz von : Vom Scheitern einer Demokratie 1930—1933.—Mainz: v. Hase und Koehler 1968. 408 S.
Paucker, Arnold: Jewish defense against nazism in the Weimar Republik. In: The Wiener Library bulletin. Vol.26. 1972,1/2, Neue Serie Nr.26/27. S.21—31
Petzina, Dietmar: Elemente der Wirtschaftspolitik in der Spätphase der Weimarer Republik. In: Vierteljahreshefte f. Zeitgeschichte. 1973,2. S.127—133
Polak, Karl: Die Weimarer Verfassung—ihre Errungenschaften und Mängel. In: Polak: Zur Entwicklung der Arbeiter- und Bauern—Macht. Reden und Aufsätze.—Berlin: Staatsverl. d. DDR 1968. S.175—232
Portner, Ernst: Koch-Wesers Verfassungsentwurf. Ein Beitrag zur Ideengeschichte der deutschen Emigration. In: Vierteljahreshefte f. Zeitgeschichte. 1966,3. S.280—298
- * Portner, Ernst: Die Verfassungspolitik der Liberalen 1919. Ein Beitrag zur Deutung der Weimarer Reichsverfassung.—Bonn:Röhrscheid 1973. 278 S.(Bonner histor. Forschungen. Bd.39.) Zugl. Bonn, Phil. Habil.-Schr. 1969.
Potthoff, Heinrich: Das Weimarer Verfassungswerk und die deutsche Linke. In: Archiv f. Sozialgeschichte. Bd.12. 1972. S.433—483
- * Preußen in der Weimarer Republik. Eine Ausstellung des Geheimen Staatsarchivs Preußischer Kulturbesitz. Zustellung und Katalog: Ludwig Biewer...—Berlin

- [33, Archivstr. 12-14] : Geheimes Staatsarchiv Preußischer Kulturbesitz 1982. 128 S., 8 Bl. Abb.
- Pross, Harry: Die Literaten und die Münchener Räterepublik. In: Vorgänge. Nr.26. 1977,1. S.79—89
- Radkau, Joachim: Renovation des Imperialismus im Zeichen der “Rationalisierung”. Wirtschaftsimperalistische Strategien in Deutschland von den Stinnes-Projekten bis zum Versuch der deutsch-österreichischen Zollunion 1922—1931. In: Imperialismus im 20. Jahrhundert. Gedenkschrift für George W.F.Hallgarten. Hrsg. v. Joachim Radkau und Immanuel Geiss.—München: Beck 1976, S. 197—264
- Räte, Republik, Gewerkschaften. Welchen Beitrag haben die Gewerkschaften zur Ausgestaltung der Weimarer Republik geleistet? In: Aus der Geschichte lernen —die Zukunft gestalten. 30.Jahre DGB. Protokoll der wiss. Konferenz zur Geschichte d. Gewerkschaften v. 12. u. 13. Okt. 1979 in München. Hrsg.: Heinz Oskar Vetter. Red.: Ulrich Borsdorf, Hans O. Hemmer.-Köln: Bund-Verl. 1980. S. 79—138(Geschichte der Arbeiterbewegung.)
- Rau, Johannes: Sechzig Jahre Weimarer Reichsverfassung. Rede vor der Friedrich Ebert-Stiftung am 11.8.1979. In: Die Neue Gesellschaft. 1979, 10. S.942—949
- Rau, Johannes: Wandlungen der Demokratie in Deutschland. Zum 60.Jahrestag der Weimarer Reichsverfassung. In: Verwaltungsrundschau. 1979. 11. S.362—368
- Die rechtlich Konstruktion der Präsidialregierungen(1930—1933). In: Juristische Arbeitsblätter. 1974,4. S. 251-254=ÖR 63—66
- * Regierung, Bürokratie und Parlament in Preußen und Deutschland von 1848 bis zur Gegenwart. Hrsg.: Gerhard A. Ritter.-Düsseldorf: Droste 1983. 224 S.(Beiträge zur Geschichte des Parlamentarismus und der politischen Parteien.73.)
- * Die Regierung der Volksbeauftragten 1918/19. Eingel. von Erich Matthias. Bearb.v. Susanne Miller unter Mitw.v. Heinrich Potthoff.T.1.2.—Düsseldorf: Droste 1969. CXCVIII, 399 u.X,408 S.(Quellen zur Geschichte des Parlamentarismus und der politischen Parteien. Reihe 1; Von der konstituonellen Monarchie zur parlamentarischen Republik.Bd.6,1.2.) zus. DM 1138.—
- * Rehberger, Horst: Die Gleichschaltung des Lades Baden 1932/33.—Heidelberg: Winter 1966. 162 S.
- Reifner, Udo: Institutionen des faschistischen Rechtssystem. In: Das Recht d. Unrechtsstaates. Arbeitsrecht und Staatsrechtswissenschaften im Faschismus. Udo Reifner(Hrsg.).—Frankfurt a.M., New York: Campus-Verl. 1981. S.11—85
- Reifner, Udo: NS-Rechtsbetreuungsstellen und die Rechtsberatung der Deutschen Arbeitsfront. Theorie u. Praxis sozial befriedener Rechtsberatung. In: Das Recht d. Unrechtsstaates. 1981. S.178—210
- * Religions-und Geistesgeschichte der Weimarer Republik. Hrsg.v.Hubert Cancik. Mit Beitr. von …—Düsseldorf: Patmos-Verl. 1982. 312 S.(Patmos Paperback.)

DM48,-

- * Die Republik von Weimar. Bd.1.2. Jens Flemming, Claus-Dieter Krohn [u.a.] (Hrsg.)
—Königstein/Ts.: Athenäum; Düsseldorf: Droste.
1. Das politische System. 1979. XIII,220 S.
2. Das sozialökonomische System.1979. X. S.221-425(Athenäum/...Droste
Taschenbücher.7224.7225: Geschichte.) zus. DM39,60
- * Ridder, Helmut: Zur Verfassungsdoktrin des NS-Staates. In: Der Unrechts-Staat.
1979. S.24—46
- * Riedel, Ulrich: Der Einfluß des Sowjetsrechts und der Weimarer Verfassung auf die
Verfassung der Deutschen Demokratischen Republik vom 7. 10. 1949.
—Göttingen, Jur. Diss. v. 21. 12. 1973.V, 242 S.
Ritter, Gerhard A.: Kontinuität und Umformung des deutschen Parteiensystems 1918
—1920. In: Vom Kaiserreich zur Weimarer Republik.1972. S.244—275
Ritter, Gerhard: Die Niederlage der Militärs. Vom Scheitern der Offensivstrategie
zur Waffenstillstandsforderung der OHL [=Obersten Heeresleitung]. In: Vom
Kaiserreich zur Weimarer Republik.1972. S.44—62
- * Ritter, Franz: Theorie und Praxis des Demokratischen Sozialismus in der Weimarer
Republik.—Frankfurt a.M., New York: Campus Verl. 1981. 320 S. (Campus
Forschung. Bd. 216.)
- * Ritter, Gerhard A., und Susanne Miller: Die deutsche Revolution 1918—1919. Do-
kumente,2.,erhebl.erw.u.überarb.Aufl.Hrsg.v...—Hamburg: Hoffmann u.
Campe 1975.502 S. (Hoffmann u.Campe Reader.)
- * Rhonheimer, Martin: Politisierung und Legitimitätsentzug. Totalitäre Kritik d.
parlamentar. Demokratie in Deutschland.—Freiburg, München: Alber 1979.
391 S.(Reihe: Prakt. Philosophie. Bd.8.)
Robinson, Hans: Was lehrt uns Weimar wirklich? In: Vorgänge. Nr. 36. 1978,6. S. 7
—11
Roche, Georges: Ingénieurs et modernité sous la République de Weimar. In: Revue d'
Allemagne. T.XIV, N°1. (1982), S.113—126
- * Rosanow, German: Das Ende des Dritten Reiches.—Berlin(-Ost): Dietz 1965. 301 S.
(Wahrheiten über d. dt. Imperialismus.16.)
Rottleuthner, Hubert: Leviathan oder Behemoth? Zur Hobbes-Rezeption im
Nationalsozialismus—und ihrer Neuauflage. In: Wissenschaft u. National-
sozialismus. 1983. S. 54—81
Rürup, Reinhard: Entstehung und Grundlagen der Weimarer Verfassung. In: Vom
Kaiserreich zur Weimarer Republik. 1972. S. 218—243
Rürup, Reinhard: Entwurf für eine demokratische Republik? Entstehung u. Grund-
lagen d. Weimarer Verfassung. In: Fünfzig Jahre deutsche Republik. 1969. S.
82—112
- * Ruge, Wolfgang: Deutschland von 1917 bis 1933.(Von der Großen Sozialistischen

- Oktoberrevolution bis zum Ende der Weimarer Republik.)—Berlin: Dt. Verl. d. Wissenschaften 1967. (Lehrbuch d. Dt. Geschichte. Beiträge.10.) 535 S.
- * Ruge, Wolfgang: Weimar. Republik auf Zeit.—Westberlin: Verl. Das europ. Buch 1976. 388 S.
- * Salewski, Michael: Entwaffnung und Militärkontrolle in Deutschland 1919—1927. —München: Oldenbourg 1966. 421 S. (Schriften des Forschungsinstituts der dt. Gesellschaft f. auswärtige Politik. 24.)
- Sauer, Wolfgang: Das Scheitern der parlamentarischen Monarchie. In: Vom Kaiserreich zur Weimarer Republik. 1972. S. 77—99
- * Schaap, Klaus: Die Endephase der Weimarer Republik im Freistaat Oldenburg 1928—1932: —Düsseldorf: Droste 1978. 313 S.(Beiträge z. Geschichte d. Parlamentarismus u. d. polit. Parteien. Bd.61.)
- * Schacht, Hjalmar: 1933. Wie eine Demokratie stirbt.—Düsseldorf, Wien: Econ-Verl. 1968. 179 S.
- Schäfer, Friedrich: Die Stellung des Staatsoberhauptes in Verfassung und politischer Praxis von Weimar und Bonn. In: 1919—1969. Parlamentarische Demokratie in Deutschland. 1970. S. 55—69
- Schäfer, Friedrich: Zur Frage des Wahlrechts in der Weimarer Republik. In: Staat, Wirtschaft und Politik in der Weimarer Republik. Festschrift für Heinrich Brüning. Hrsg. von Ferdinand Aloys Hermens und Theodor Schieder.—Berlin: Duncker & Humblot 1967. VIII, 507 S.
- * Schanbacher, Eberhard: Parlamentarische Wahlen und Wahlsystem in der Weimarer Republik. Wahlgesetzgebung und Wahlreform im Reich und in den Ländern. —Düsseldorf: Droste 1982. 303 S.(Beiträge zur Geschichte des Parlamentarismus und der politischen Parteien. Bd.69.)
- Schefold, Dian: Carl Schmitt: Auf dem Weg der Staatsrechtslehre in den Nationalsozialismus und zurück. In: Wissenschaft u. Nationalsozialismus. 1983. S. 35—53
- Scheuner, Ulrich: Die Anwendung des Art.48 der Weimarer Reichsverfassung unter den Präsidenschaften von Ebert und Hindenburg. In: Staat, Wirtschaft und Politik in der Weimarer Republik. Festschrift für Heinrich Brüning. Hrsg. von Ferdinand Aloys Hermens und Theodor Schieder.—Berlin: Duncker & Humblot. VIII, 507 S.
- Scheurig, Bodo: Konservatismus, Weimarer Republik und Nationalsozialismus. In: Wehrkunde. 1974,11. S. 574—579
- Schick, Walter: Bonner Grundgesetz und Weimarer Verfassung—heute. In: AöR Bd. 94. 1969,3. S. 353—387
- Schickel, Alfred: Die erste Reichstagswahl der Weimarer Republik. Das verhängnisvolle Ergebnis des 6. Juni 1920. In: Das Parlament. 1970,23. S.13
- Schickel, Alfred: Die Nationalversammlung von Weimar. Personen, Ziele, Illusionen

- vor fünfzig Jahren. In: Aus Politik u. Zeitgeschichte. 1969, 6. S.3—24
- Schieck, Hans: Die Behandlung der Sozialisierungsfrage in den Monaten nach dem Staatsumsturz. In: Vom Kaiserreich zur Weimarer Republik. Hrsg. von Eberhard Kolb.—Köln: Kiepenheuer u. Witsch 1972. S.138—164(Neue wissenschaftliche Bibliothek,49.Geschichte.)
- Schiffers, Reinhard: Badische Einflüsse auf die Reichsverfassung von 1919. In: Zs.f. Geschichte d. Oberrheins. 1972. N.F. Bd.81. S.433—447
- * Schiffers, Reinhard: Elemente direkter Demokratie im Weimarer Regierungssystem. —Düsseldorf: Droste 1971.323 S. (Beiträge z.Geschichte d.Parlamentarismus u. d.polit.Parteien.40) Zugl.Diss.Univ. Mannheim. DM 48,—
- Schlegel, Wolfgang. Entstand die "Weimarer Republik" aus einer Revolution? In: Der freie Bürger. 1969, 9/10. S. 6—8
- Schlez, Georg: Das badische Ermächtigungsgesetz des Jahres 1933. In: Baden-Württ. Verwaltungsblatt. 1973,7. S. 104—105
- * Schmitt, Carl: Der Hüter der Verfassung. 2. Aufl. (Unveränd. Nachdr. d. 1.Aufl.1931.) — Berlin: Duncker & Humblot 1969. VIII, 159 S.
- Schneider, Hans: Das Ermächtigungsgesetz vom 24. März 1933. In: Von Weimar zu Hitler 1930—1933. Hrsg. v. Gotthard Jasper.- Köln, Berlin: Kiepenheuer & Witsch 1968. S. 405—442(Neue wissenschaftliche Bibliothek. Geschichte. 25.)
- Schneider, Michael: Tolerierung, Opposition, Auflösung. Die Stellung des Allgemeinen Deutschen Gewerkschaftsbundes zu den Regierungen Brüning bis Hitler. In: Sozialdemokratische Arbeiterbewegung und Weimarer Republik. Materialien zur gesellschaftl. Entwicklung 1927—33. Hrsg. von Wolfgang Luthardt. Bd.1.—Frankfurt a.M.: Suhrkamp 1978. S. 150—219
- Schöneburg, Karl-Heinz: Räte als revolutionäre Macht. Zum 60. Jahrestag d. Novemberrevolution. In: Neue Justiz. 1978,11. S. 467—471
- Schulze, Hagen: Rückblick auf Weimar. Ein Briefwechsel zwischen Otto Braun und Joseph Wirth im Exil: Dokumentation. In: Vierteljahreshefte f. Zeitgeschichte. 1978,1. S. 144—185
- Schulze, Hagen: Die SPD und der Staat von Weimar. In: Die Weimarer Republik. 1980. S.272—286
- Schulz, Gerhard: Artikel 48 in politisch-historischer Sicht. In: Der Staatsnotstand. Berlin 1965. S. 39—71
- Schulz, Gerhard: Die Probleme des Friedenskonferens und die Verhandlungen der Versailler Friedenskonferenz. In: Vom Kaiserreich zur Weimarer Republik. 1972. S. 279—292
- Schulz, Gerhard: Triebkräfte und Ziele der Reichsreform nach der Weimarer Verfassung. In: Verwaltungsgeschichte. Aufgaben, Zielsetzungen, Beispiele. Vorträge und Diskussionsbeiträge der verwaltungsgeschichtl. Arbeitstagung 1976 der Hochschule für Verwaltungswissenschaften Speyer. Hrsg. v. Rudolf Morsey.

- Berlin: Duncker & Humblot 1977. S. 71—99(Schriftenreihe d. Hochschule Speyer. 66.)
- * Schulze, Hagen: Freikorps und Republik 1918—1920.—Boppard: Boldt 1969. XI, 363 S. (Wehrwissenschaftl. Forschungen. Abt. Militärgeschichtl. Studien.8.)
 - * Schulz, Klaus-Peter: Der Reichstag Gestern—Morgen—, —Berlin:Kranich-Verl. 1969. 320 S.
 - * Schumacher, Martin: Parlamentspraxis in der Weimarer Republik. Die Tagungsberichte d.Vereinigung der dt. Parlamentsdirektoren 1925 bis 1933.Bearb.—Düsseldorf: Droste 1974,VIII,272 S.(Quellen z.Geschichte d.Parlamentarismus u.der polit. Parteien.Reihe 3: Die Weimarer Republik.Bd.2.)DM 72.—
 - * Schüren, Ulrich: Der Volksentscheid zur Fürstenenteignung 1926. Die Vermögen-sauseinandersetzung mit den depossedierten Landesherrn als Problem der deutschen Innenpolitik unter bes. Berücks. d. Verhältnisse in Preußen. Hrsg. v. d. Kommission f. Geschichte des Parlamentarismus und der polit. Parteien. Düsseldorf: Droste 1978.327S.(Beiträge z.Geschichte d. Parlamentarismus und der politischen Parteien. Bd.64.)DM.72,—
- Schuon, Karl-Theodor, und Hanne Wiedner: Politisch-soziologische Analyse historischer Kausalität und politische Bildung in der BRD, Weimarer Republik und Aufstieg des Nationalsozialismus im Spiegel der Schulgeschichtsbücher für die Oberstufe der Gymnasien. In: Blätter f. dt. u. internat. Politik. 1968,12. S. 1288—1299; 1969.4. S. 399—412
- Schwanecke, Inge Beate: Die Gleichberechtigung der Frau unter der Weimarer Reichsverfassung.—Heidelberg, Jur. Diss. v. 1977. III, 102 S.
- * Siewert, Curt: Schuldig? Die Generale unter Hitler. Stellung u.Einfluß d.hohen militärischen Führer im nationalsozialistischen Staat. Das Maß ihrer Verantwortung u.Schuld.—Bad Naubeim: Podzun 1968. 190 S. DM 22,—
 - * Sinzheimer, Hugo, und Ernst Fraenkel: Die Justiz in der Weimarer Republik. Eine Chronik mit einer Einführung von Otto Kirchheimer. Hrsg. v. Thilo Ramm. —Neuwied u. Berlin: Luchterhand 1968. 488S.(Politica. 29.)
 - * Das Sonderrecht für die Juden im NS-Staat. Eine Sammlung d.gesetzl.Maßnahmen u.Richtlinien. Inhalt u.Bedeutung. Hrsg.v.Joseph Walk unter Mitarb.v... mit Beiträgen v.Robert M.W.Kempner u. Adalbert Rückert.—Heidelberg, Karlsruhe: C.F. Müller 1981.XVII,452 S. (Motive, Texte, Materialien. 14.) DM 128.—
 - * Sontheimer, Kurt: Antidemokratisches Denken in der Weimarer Republik. Die politischen Ideen des dt. Nationalismus zwischen 1918 u. 1933. Studienausgabe mit e. Ergänzungsteil: Antidemokratisches Denken in der Bundesrepublik. —München: Nymphenburger Verlagshandlung 1968. 362 S.
 - * Sösemann, Bernd: Das Ende der Weimarer Republik in der Kritik demokratischer Publizisten: Theodor Wolff, Ernst Feder, Julius Elbau, Leopold Schwarzschild. —Berlin: Colloquium Verl. 1976. 251 S.(Abhandlungen und Materialien zur

Publizistik.9.)

- * Staat und NSDAP 1930—1932. Quellen zur Ära Brüning. Eingel. von Gerhard Schulz Bearb. v. Ilse Maurer u. Udo Wengst.—Düsseldorf: Droste 1977. LXXXIX, 350 S (Quellen zur Geschichte des Parlamentarismus u. der polit. Parteien. Reihe 3 Die Weimarer Republik. Bd.3.) DM 102.-
- Die Staats- und Wirtschaftskrise des Deutschen Reiches 1929/33. 6 Beiträge von Hans Rauch u. a. Hrsg. v. Werner Conze u. Hans Raupach.—Stuttgart: Klett 1967. 255 S. (Industrielle Welt. 8.)
- Stabilisierung, Krise, Diktatur. Hätten die Gewerkschaften die Weimarer Republik retten können? In: Aus der Geschichte lernen... 1980. S. 139—208
- Stegmann, Josef: Um Demokratie und Republik. Zur Diskussion im deutschen Katholizismus der Weimarer Zeit. In: Jahrbuch f. christliche Sozialwissenschaften. Bd. 10. 1969. S. 101—127
- Stimmen zum Ermächtigungsgesetz. In: Eichholzbrief. 1983, 1. S. 42—47
- Stolleis, Michael: Staatsrechtslehre zwischen Monarchie und Führerstaat. In: Wissenschaft und Nationalsozialismus. 1983. S. 12—34
- Strauch, Rudolf: Weimar: Als es nach Militärdiktatur noch Feichwehr als Staat im Staate. Ein Marschall-Präsident und ein Kanzler-General. In: Das Parlament. 1979, 9. S. 3—4
- Studnitz, Hans-Georg von: Die Strukturschwächen der deutschen Demokratie. In: Zeitbühne. 1978, 8. S. 20—27
- Stürmer, Michael: Koalition und Oppositionen: Bedingungen parlamentarischer Instabilität. In: Die Weimarer Republik. Belagerte Civitas. Hrsg. v. Michael Stürmer.—Königstein/Ts.: Verlagsgruppe Athenäum, Hain, Scriptor, Hainstein 1980.
- Stürmer, Michael: Der unvollendete Parteienstaat. Zur Vorgeschichte des Präsidialregimes am Ende der Weimarer Republik. In: Vierteljahreshefte f. Zeitgeschichte. 1973, 2. S. 119—126
- Teppe, Karl: Die NSDAP und die Ministerialbürokratie. Zum Machtkampf zwischen dem Reichsministerium des Innern und der NSDAP um die Entscheidungsgewalt in den annektierten Gebieten am Beispiel der Kontroverse um die Einsetzung der Gauräte 1940/41. In: Der Staat. Bd. 15. 1976, 3. S. 367—380
- Thienen, Christoph von : Vom Erbe der Monarchie in der Republik. In: Zeitbühne. 1978, 8. S. 10—19
- Thieme, Karl: Deutscher unter Deutschen. I. In der Weimarer Republik. In: Hochland. 1968, 7. S. 609—623
- Thiessenhusen, Karen: Politische Kommentare deutscher Historiker zur Revolution und Neuordnung 1918/19. In: Aus Politik und Zeitgeschichte. 1969, 45. S. 3—63
- Tormin, Walter: Die Entstehung und Entwicklung der Weimarer Republik bis zu Eberts Tod. In: Die Weimarer Republik. Hrsg. von Walter Tormin. Mit

- Beiträgen von...7.Aufl.—Hannover: Fackelträger Verl. 1973. S.82—136(Edition Zeitgeschehen.4.)
- * Treviranus, Gottfried Reinhold: Das Ende von Weimar. Heinrich Brüning u.s.Zeit. —Düsseldorf, Wien: Econ-Verl. 1968.431 S.
 - * Triefel, Heinrich: Streitigkeiten zwischen Reich und Ländern. Beiträge z. Auslegung d. Artikels 19. d. Weimarer Reichsverfassung.(Unveränd. reprograf. Nachdr.), Bad Homburg v.d.H.: Gentner 1965. 118 S. Aus: Festgabe f. Wilhelm Kahl z. Doktorjubiläum am 19. April 1923.
 - Trip, Ernst: Ein Staat ohne Glück. Rückblick auf die Verhängnisse der Weimarer Republik. In: Zeitwende. 1968,11. S. 759—769
 - * Trumpp, Thomas, und Renate Köhne: Archivbestände zur Wirtschafts-und Sozialgeschichte der Weimarer Republik. Übersicht über Quellen in Archiven der Bundesrepublik Deutschland. Bearb. v. Th. Trumpp u. R. Köhne. Mit Beiträgen von...Boppard: Boldt 1979. 380 S.(Schriften d. Bundesarchiv.29.)
 - Ule, Carl Herrmann: Vom Staatsleben unter der Weimarer Verfassung. In: DVB1. 1981, 17. S. 821—822
 - * Der Unrechts-Staat. Recht u. Justiz im Nationalsozialismus. Hrsg.: Redaktion Kritische Justiz. Mit Beitr. von...—Frankfurt a.M.: Europ. Verl.-Anst. 1979. 211 S.(Kritische Justiz. Sonderh.)
 - Unruh, Georg Christoph von: Sorgen um die Verfassungsentwicklung des republikanischen Deutschen Reiches. In Memoriam Friedrich Poetzsch-Heffter. (Aus Anlaß der 100jähr. Wiederkehr seines Geburtstages am 21.6.1981.) In: DVB1. 1981,12. S. 571—575
 - * Die Verfassung des Deutschen Reichs. Hrsg. von Hermann Mosler.—Stuttgart: Reclam 1973. 78 S. (Universal—Bibliothek. Nr.6051.)
 - * Verfassungs-und Staatsrecht. 1. Grundgesetz, Weimarer Verfassung(Ausz.), Erklärung der Aliierten vom 27.Mai 1968, Deutschlandvertrag(Ausz.)...Mit Kurzerläuterungen zud. Grundrechten und Stichwortverz.—Neuwied u. Berlin: Luchterhand 1968.220 S.(Luchterhand Texte.1.)
 - * Vetter, Joachim: Die Bundesstaatlichkeit in der Rechtsprechung des Staatsgerichtshofs der Weimarer Republik.-Baden-Baden: Nomos Verl.-Ges. 1979. 181 S. (Studien und Materialien zur Verfassungsgerichtsbarkeit. Bd.13.)
 - Vogel, Hans-Jochen: Demokratie ohne Demokraten. Der Bundesjustizminister zum 60. Jahrestag der Weimarer Verfassung. In: Recht. Information d. BMJ. 1979, 8. S.97—99
 - Vogelsang, Thio: Zu den Anfängen der Verfolgung im Dritten Reich(Februar—April 1933). In: Gutachten d. Inst. f. Zeitgeschichte. Bd.2. 1966. S.11—14
 - * Volkmann, Hans-Erich: Wirtschaft im Dritten Reich. Eine Bibliographie. Bd.1. 1933—1939. Unter Mitarb. v. Lutz Köllner.—München: Bernard u. Graefe 1980. XI, 294 S.(Schriften d. Bibliothek f. Zeitgeschichte. N.F. Bd.20.)

- Volksbegehren/Volksentscheid in der Weimarer Verfassung und unter dem Bonner Grundgesetz. In: Rote Robe. 1981,5. S. 178—183
- * Vom Kaiserreich zur Weimarer Republik. Hrsg. von Eberhard Kolb.—Köln: Kiepenheuer u. Witsch 1972. 437 S. (Neue wissenschaftliche Bibliothek. 49. = Geschichte.)
- Volk, Ludwig: Kardinal Faulhabers Stellung zur Weimarer Republik und zum NS-Staat. In: Stimmen der Zeit, 1966,3. S. 173—195
- Wadle, Elmar: Das Ermächtigungsgesetz. Eine Erinnerung. In: JuS 1983,3.S.170—176
- Wahsner, Roderich: Faschismus und Arbeitsrecht. In: Das Recht des Unrechtsstaates. Arbeitsrecht und Staatsrechtswissenschaften im Faschismus. Udo Reifner(Hrsg.).—Frankfurt a.M., New York: Campus-Verl. 1981. S. 86—129
- Weber, Hermann: Kommunismus in der Weimarer Republik. Revolutionäre Politik in nichtrevolutionärer Zeit. In: Die neue Gesellschaft. 1970,2. S.257—261
- * Wehler, Wolfgang: Der Staatsgerichtshof für das Deutsche Reich. Die polit. Rolle der Verfassungsgerichtsbarkeit in der Zeit der Weimarer Republik.—Bonn, Rechts- u. staatswiss. Diss. v. 20.4.1979. XXXVII, 396 S.
- * Die Weimarer Republik. Belagerte Civitas. Hrsg. v. Michael Stürmer.—Königstein/Ts.: Verlagsgruppe Athenäum, Hain, Scriptor, Hanstein 1980. 407 S. (Neue wissenschaftl. Bibliothek. 112.) DM 56,-
- * Die Weimarer Republik. Ihre Geschichte in Texten, Bildern u. Dokumenten. Hrsg. v. F.A. Krummacker u. Albert Wucher u. Mitwirk. v. Karl Otmar Frhr. von Aretin. M.e. Vorw. v. Karl Holzamer. 1918—1933.—München, Wien, Basel: Desch 1965. 428 S.
- Weimar oder die Last der Vergangenheit. Aufstieg und Fall der ersten Republik als Problem der Forschung. In: Die Weimar Republik. Belagerte Civitas. Hrsg. v. Michael Stürmer. 1980. S. 13—36
- Weimar und Bonn. Fünfzig Jahre Republik. 1. Golo Mann: Demokratie in Deutschland 1919 und 1949. 2. Golo Mann: Demokratie in Deutschland 1919 und 1949. 3. Gerhard Zwoch: Politik und Programme der demokratischen Parteien 1919—1969. In: Rheinischer Merkur. 1969,6 v.7.2.69.S.14—15; 1969,7 v.14.2.69.S.14—15; 1969,8 v.21.2.69.S.12—13
- * Weißgerber, Paul: Deutschland am Scheideweg. Die Krise d. 2. Republik.—Wolfenbüttel: Grenzland-Verl. Rock 1968. 136 S.
- Wenger, Paul Wilhelm: Die Geburtsfehler der Weimarer Republik. In: Rheinischer Merkur. 1968,45. S.3
- Wenschkewitz, Leonore: Zur Geschichte des Reichskirchenministeriums und seines Ministers. In: Kirche und Nationalsozialismus. 1969. S.185—205
- Wheeler-Bennett, John: The end of the Weimar Republic. In: Foreign Affairs. Vol.50. 1972,2. S. 351—371
- Winkler, Heinrich August: Unternehmer und Wirtschaftsdemokratie in der Weimar-

- er Republik. In: Politische Vierteljahresschrift. 1970, Sonderh. 2. S. 308—322
- * Wissenschaft und Nationalsozialismus. Zur Stellung der Staatsrechtslehre, Staatsphilosophie Psychologie, Naturwissenschaft und der Universität zum Nationalsozialismus. Beitr. von Michael Stolleis, Dian Schefold(u.a.). Hrsg. v. Steffen Harbordt. Eine Vortragsreihe d. Fachbereichs Gesellschafts- u. Planungswissenschaften d. Techn. Univ. Berlin im Wintersemester 1982/83. —Berlin 12, Strasse d. 17. Juni : Universitätsbibl. d. Techn. Univ., Abt. Publikationen 1983. 150 S.
- Witt, Peter-Christian: Kontinuität und Diskontinuität im polit. System der Weimarer Republik. Das Verhältnis von Regierung, Bürokratie und Reichstag. In: Regierung, Bürokratie und Parlament... 1983. S. 117—148
- Wahl, Rainer: Bibliographie. In: Moderne deutsche Verfassungsgeschichte.(1815-1914) Hrsg. v. Ernst-Wolfgang Böckenförde.-Köln: Kiepenheuer & Witsch 1972. S. 471—492(Neue wissenschaftliche Bibliothek. Geschichte. 51)
- * Zeitgeist der Weimarer Republik. Hrsg. v. Hans Joachim Schoeps.-Stuttgart: Klett 1968. 279 S.(Zeitgeist im Wandel. 2.)
- * Ziemer, Gerhard: Inflation und Deflation zerstören die Demokratie. Lehren aus dem Schicksal der Weimarer Republik.—Stuttgart: Seewald 1971. 256 S.
- Zinn, Christian: Vor 50 Jahren—Verwirklichung des Frauenwahlrechts. In: Soziodemokratischer Pressedienst. 1968. 213. S.5—6